

日本気象学会 2010 年度秋季大会

会期：2010 年 10 月 27 日（水）～29 日（金）

会場：京都テルサ 〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町 70 番地
（新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内）
<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/>

大会実行委員会担当機関：大阪管区気象台
京都大学
神戸大学
同志社大学
日本気象予報士会関西支部

大会委員長：佐々木秀行（大阪管区気象台）

当日の会場への連絡先：大会実行委員会事務局（京都テルサ第 5 会議室，西館 3 階）
TEL：075-692-3400・FAX：075-692-3402（京都テルサ代表）
「日本気象学会秋季大会実行委員会」とご指名ください

会場案内図



- 交通の案内：
- JR 京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約 15 分
 - 近鉄東寺駅より東へ徒歩約 5 分
 - 地下鉄九条駅 4 番出口より西へ徒歩約 5 分
 - 市バス九条車庫南へすぐ
 - 名神京都南インターより国道 1 号北行き市内方面へ九条通を東へ，九条新町交差点を南へ

大会行事予定

A会場 : テルサホール (西館1階)
 B会場 : 大会議室 (東館3階)
 C会場 : セミナー室 (東館2階)
 D会場 : 第1会議室 (西館3階)
 ポスター会場 : テルサホール後方スペース
 西館2階展示スペース

シンポジウム・各賞授与式・受賞記念講演 :
 テルサホール (西館1階)
 受付 : テルサホール前 (西館1階)
 大会事務局 : 第5会議室 (西館3階)
 懇親会 : 大会議室 (東館3階)

() は講演数, - は座長

		A会場	B会場	C会場	D会場
10月27日 (水)	09:30～ 12:30	気象予報 (15, A101～A115) -堀田大介- -青梨和正-	気候システム I (12, B101～B112) -福富慶樹-	中層大気 (15, C101～C115) -井上 誠-	大気境界層 (15, D101～D115) -近藤裕昭-
	13:30～ 17:00	スペシャル・セッション 「黄砂とバイオエアロ ゾル:発生・輸送・分布・ 沈着・影響評価へのモ デル化-」 (16, A151～A166) -長田和雄- -三上正男- -甲斐憲次- -松木 篤-	スペシャル・セッション 「異常気象と低周波変 動」 (18, B151～B168) -向川 均- -中村 尚- -木本昌秀-	スペシャル・セッション 「温室効果ガス観測技 術衛星 GOSAT「いぶ き」の利用研究」 (17, C151～C167) -今須良一- -江口菜穂- -小田知宏-	観測手法 (15, D151～D165) -川村誠治- -岩井宏徳-
	17:00～ 18:00	ポスター・セッション (99, P101～P199)			
10月28日 (木)	09:05～ 12:00	スペシャル・セッション 「温暖化予測のための 力学的および統計的 ダウンスケーリング 研究の現状と問題点」 (12, A201～A212) -高藪 出- -木村富士男-	スペシャル・セッション 「金星気象衛星「あかつ き」の科学」 (14, B201～B214) -松田佳久-	台風 (12, C201～C212) -筆保弘徳-	降水システム I (16, D201～D216) -田尻拓也- -猪上華子-
	13:00～ 13:30	山本正野論文賞・堀内賞・奨励賞授与			
	13:30～ 15:10	山本正野論文賞・堀内賞記念講演			
	15:30～ 17:45	シンポジウム「大気圏のさまざまな境界面での相互作用」司会: 向川 均 基調講演: 谷本陽一・新野 宏・黒田友二・長谷部文雄・宮原三郎			
	18:00～ 20:00	懇親会			
10月29日 (金)	09:30～ 11:30	気候システム II (9, A301～A309) -釜塚弘隆-	中高緯度大気 (11, B301～B311) -飯島慈裕-	熱帯大気 (11, C301～C311) -森 修一-	大気力学 (11, D301～D311) -前島康光-
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (99, P301～P399)			
	13:30～ 17:00	スペシャル・セッション 「マルチ気候モデルデ ータ解析による地球 温暖化現象の理解」 (21, A351～A371) -木本昌秀- -高藪 縁- -尾瀬智昭-	スペシャル・セッション 「気象情報・知識の伝 達・普及 (II)」 (18, B351～B368) -難波良彰-	降水システム II (22, C351～C372) -清野直子- -小林文明-	物質循環システム (11, D351～D361) -酒井 哲- 大気放射 (7, D362～D368) -工藤 玲-

発表件数: 496 件 (口頭発表 298, ポスター 198)

口頭発表の講演・質疑時間: 7分と2分

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail: kouenrikaku2010a@metsec.jp) まで。

大会参加費・懇親会費

大会参加費

- 大会参加費は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者 A	8,000 円	—
講演者 B	5,000 円	—
聴講者	3,000 円	4,000 円

- 講演者の種別：
 - 講演者 A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）
 - 講演者 B：講演者 A に該当しない講演者
- 講演件数が 2 件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。
- シンポジウムのみに参加する場合は、参加費は無料です。

懇親会費

- 懇親会費は以下の表の通りです。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	5,000 円	6,000 円
学生	3,500 円	4,000 円

支払方法

- 講演者の参加費の支払い方法は前納のみとなっており、既に受付は締め切られています。
- 懇親会費及び聴講者の参加費を前納する場合は、大会ホームページにて 2010 年 9 月 7 日（火）までにお支払下さい（郵便振替の場合は 2010 年 8 月 31 日（火）まで）。それを過ぎた場合は当日払いとなります。

領収書

- 領収書は参加者本人の名義で、大会当日受付にて名札と一緒に手渡される予定です。
- 名義の変更が必要な場合には再発行が可能ですので、大会当日受付にてお申し出下さい。

その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・懇親会費には会員・非会員の区別はありません。
- 非会員の方も規定の参加費・懇親会費をお支払い頂ければ大会・懇親会に会員と同様に参加することができます。

講演の方法

口頭発表（スペシャル・セッションを含む）

- 一般口頭発表の講演 1 件あたりの持ち時間は 9 分（講演 7 分・質疑 2 分）です。
- スペシャル・セッションの発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- 講演には PC プロジェクターを使用できます。
- 講演にあたり、予め以下の点をご了承ください。
 - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
 - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
 - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をとることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行

って頂くようにお願いします。

ポスター発表

- 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、**縦 140 cm × 横 90 cm** 程度となっています。
- ポスターの掲示には画鋏が使用できます。画鋏は会場に用意されています。
- ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守をお願いします。
 - ✓ 第 1 日の発表者は 10 月 27 日 09:00～18:00
 - ✓ 第 3 日の発表者は 10 月 29 日 09:00～17:00
- ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

保育施設の紹介について

京都テルサには保育ルームがあり、生後 6 か月以上から就学前のお子様を 1 名 500 円で（1 回の利用は 3 時間以内、超過する場合は 1 時間あたり 200 円の延長料金、ただし最大 6 時間まで）預かってもらえます。空き状況を電話でご確認の上、利用者が直接申し込みを行ってください。

京都テルサ保育ルーム TEL・FAX：075-692-3425

E-mail: kyoto-womense25@kyoto-womense.jp

利用日の前々日（午後 5 時）までに予約が必要です。

シンポジウム「大気圏のさまざまな境界面での相互作用」

日時：大会第2日（10月28日）15:30～17:45
 会場：京都テルサ テルサホール（大会A会場）
 司会：向川 均（京都大学防災研究所）

※シンポジウムの聴講は無料です

趣旨

地球の大気圏にはさまざまな境界面が存在しています。例えば、大気と海洋との境界面、境界層と自由大気との境界面、対流圏と成層圏との境界面である圏界面、あるいは、中性大気と電離大気との境界面などが存在します。大気は、これらの境界面を通して運動量・熱・エネルギーや物質を輸送・混合することにより、上下方向に緊密に結合しています。このような上下方向の相互作用は、近年、高解像度の観測データが取得できることになったことや、各種の結合モデルが開発されたことにより、その詳細が明らかになりつつあります。

今回のシンポジウムでは、このような大気圏のさまざまな境界面での相互作用、特に、大気海洋相互作用、境界層と自由大気との相互作用、対流圏と成層圏との力学的相互作用や物質交換、中性大気と電離大気との相互作用に関する最新の知見について5名の講演者の方に話題提供して頂き、境界面での相互作用という観点で、大気圏を俯瞰してみることを試みたいと思います。

基調講演

- ・「中緯度西岸域における大気海洋相互作用」
谷本陽一（北海道大学大学院地球環境科学研究院）
- ・「境界層と自由大気の相互作用」
新野 宏（東京大学大気海洋研究所）
- ・「成層圏-対流圏力学結合」
黒田友二（気象庁気象研究所気候研究部）
- ・「熱帯対流圏界面を通じた物質交換」
長谷部文雄（北海道大学大学院地球環境科学研究院）
- ・「大気圏電離圏カップリング —電離圏電流変動と中性大気変動を中心として—」
宮原三郎（九州大学大学院理学研究院）

総合討論

スペシャル・セッションの概要紹介

黄砂とバイオエアロゾル：発生・輸送・分布・沈着・影響評価へのモデル化-

日時：大会第1日（10月27日）13:30～17:00
 場所：A会場

趣旨：黄砂とバイオエアロゾルは、「地表から飛び立って長距離輸送され、いずれ風下地域に沈着する」という点で類似している。大気への供給や輸送・空間分布、あるいは大気中での変質、沈着量の地理的分布など、概要は知られつつも未だその詳細については不明な点が多い。さらに、黄砂もバイオエアロゾルも、健康影響から気候影響まで、関連分野が広いことも共通したおもしろさと言えるだろう。

本スペシャル・セッションでは、黄砂とバイオエアロゾルの発生・輸送・分布・沈着・影響評価へのモデル化まで、似ているが異なる両分野の最新の研究成果を共有し、発生源や沈着域での観測やリモートセンシング、種々のモデリングなど、異分野交流を含めた活発な議論を期待したい。

世話人：長田和雄（名古屋大学大学院環境学研究科）、三上正男（気象研究所）、岩坂泰信（金沢大学フロンティアサイエンス機構）、甲斐憲次（名古屋大学大学院環境学研究科）、松木 篤（金沢大学フロンティアサイエンス機構）

異常気象と低周波変動

日時：大会第1日（10月27日）13:30～17:00
 場所：B会場

趣旨：今年の冬の異常気象（北半球寒冬）は記憶に新しい。マスコミも大々的に報じるなど、社会的関心も高い。しかし異常気象の解明は一筋縄ではいかない。現象間の関係が複雑であることも一因であるが、基礎となるべき低周波変動の力学が十分に発展していないことも大きい要因である。今冬もブロッキング、エル・ニーニョ、突然昇温などが関係していたが、これらはそれぞれ内部力学、外部強制、対流圏・成層圏相互作用などの発現であり、解明すべき課題が多いことを示している。このような現状を踏まえ、これまで様々に発表されてきた異常気象（とそれに関係する気候変動）の具体的研究と低周波変動に関する力学的研究を一室に集め、その発展を横断的に概観することは非常に意味のあることと考えられる。このなかで両者をつなぐ問題意識を共有するような議論を展開していきたい。もちろん広い立場からこれらを考えることが重要なので、異常気象・低周波変動に広く関係すると思われる研究発表も歓迎

する。

世話人: 伊藤久徳 (九州大学大学院理学研究院), 木本昌秀 (東京大学大気海洋研究所), 向川 均 (京都大学防災研究所), 中村 尚 (東京大学大学院理学系研究科)

温室効果ガス観測技術衛星 GOSAT「いぶき」の利用研究

日時: 大会第1日 (10月27日) 13:30~17:00

場所: C会場

趣旨: 2009年1月23日に打ち上げられた温室効果ガス観測技術衛星 GOSAT「いぶき」は、大きな障害もなく順調に観測を続けている。GOSAT は宇宙航空研究開発機構 (JAXA), 環境省 (MOE), 国立環境研究所 (NIES) の共同プロジェクトであり、亜大陸規模での二酸化炭素の発生・吸収強度の推定誤差を半減させることを最大の目標としている。2009年2月までに初期検証作業が終了し、2010年2月より二酸化炭素とメタンの濃度データ (レベル2データ) の一般配布が開始された。本セッションの前半では、初期校正検証作業の結果を踏まえたセンサー性能とデータ品質についてプロジェクト関係者を中心に発表を行う。後半については、既に配布されたデータを用いた研究発表の他、今後公開されるデータを用いる幅広い応用分野を含む研究発表も募集する。これには、CAI センサー等を用いたエアロゾルや雲に関する発表も歓迎する。本セッションを GOSAT データの有効性と発展性を広く議論する機会としたい。

世話人: 今須良一 (東京大学大気海洋研究所), 井上 元 (総合地球環境学研究所), 横田達也 (国立環境研究所), 中澤高清 (東北大学), 近藤 豊 (東京大学先端科学技術研究センター), 中島映至 (東京大学大気海洋研究所)

温暖化予測のための力学的および統計的ダウンスケーリング研究の現状と問題点

日時: 大会第2日 (10月28日) 09:05~12:00

場所: A会場

趣旨: 21世紀気候変動予測革新プログラムや地球環境研究総合推進費戦略的研究開発プロジェクトにおいて地球温暖化予測のための力学的および統計的ダウンスケーリング研究が実施されており、多くの成果が報告されている。しかしながら、ダウンスケーリングによる温暖化予測情報をを用いた影響評価や適応策への利用については、不確実性の取り扱い等を含め様々な問題が指摘されている。本セッションでは、予測の不確実性への対応、影響評価および適応策への応用、ダウンスケーリングの高度化などダウンスケーリング研究の現状を把握して問題点を整理し、今後の研究の方向性について議論する。

世話人: 木村富士男 (海洋研究開発機構), 高藪 出 (気象研究所), 川瀬宏明 (国立環境研究所), 日下博幸 (筑波大学), 佐藤友徳 (北海道大学大学院), 高橋 洋 (首都大学東京), 原 政之 (海洋研究開発機構), 吉兼隆生 (海洋研究開発機構), 若月泰孝 (海洋研究開発機構)

金星気象衛星「あかつき」の科学

日時: 大会第2日 (10月28日) 09:05~12:00

場所: B会場

趣旨: 日本の金星探査機「あかつき」が2010年5月に打ち上げられ、12月には観測を開始する予定である。雲層付近の大気スーパーローテーションに同期した赤道上の長楕円軌道から様々な波長で金星を観測することにより、大気の3次元的な運動が明らかになるものと期待されている。金星大気の流体力学に重点をおいた観測は世界的にも例がなく、国内外から多くの関心を集めている。本セッションでは「あかつき」によって得られる観測データとその有効な利用方法、それに必要な研究協力体制の構築、ミッションの成果を広く共有するための枠組み (データの公開やアーカイブ方法) などについて、突っ込んだ議論を行いたい。検討が始まっている日本の火星探査計画や惑星大気に関する最新の研究成果など、あかつき関連以外の話題提供も歓迎する。

世話人: 高木征弘 (東京大学大学院理学系研究科), 今村 剛 (宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所)

マルチ気候モデルデータ解析による地球温暖化現象の理解

日時: 大会第3日 (10月29日) 13:30~17:00

場所: A会場

趣旨: 地球温暖化は市民生活の中でも関心の高い問題である。特に私たちの生活を左右する日々の天候は、温帯低気圧や台風の強さや経路、熱波や寒波、豪雨や干ばつといった、短周期の気象・海象の現れ方に大きく影響されるため、その将来変化についての見通しはたいへん重要である。将来気候の解析には WCRP 第3次結合モデル相互比較プログラム (CMIP3) の21世紀シナリオ実験結果などが利用されるが、世界の気候モデルによる答えには、その属性としてある程度のばらつきがある。本スペシャル・セッションでは、このばらつきを含むマルチ気候モデルの比較解析の特長を生かして、現象のメカニズムとモデル再現性についての理解を深めると共に、温暖化の影響でそれらが将来いかに変化・変調するかについての予測結果を解釈するための議論をしたい。また、IPCC 第5次報告書に向けての新気候モデル実験についての解析結果を含む議論も歓迎する。

世話人: 高藪 縁 (東京大学大気海洋研究所), 木本昌秀 (東京大学大気海洋研究所), 中村 尚 (東京大学大学院理学系研究科), 尾瀬智昭 (気象研究所)

気象情報・知識の伝達・普及 (II)

日時: 大会第3日 (10月29日) 13:30~17:00

場所: B会場

趣旨: 気象技術の進歩とともに、気象情報が質・量ともに急速に充実している。しかし、折角の気象情報も、伝わり、理解され、活用されなければ意味がない。気象情報の作成には適切な内容と発表のタイミングが重要であり、受け手側の理解、活用も問題になる。近年の集中豪雨や津波などの事例において、さまざまな重要な課題が指摘されている。また、気象情報の伝達、活用においては気象予報士の役割が期待されている。昨年の秋季大会に続き、このセッションでも気象情報の作成、伝達、関連知識の普及・訓練に携わる人々の、日ごろの研究成果が発表されることを期待している。課題としては、①情報作成時の配慮・工夫、②伝

達に際しての配慮・工夫, ③気象知識の普及(学校教育を含む)及び気象情報等活用訓練の実施, といったところが挙げられる。それぞれの問題点のありかや克服の仕方などについての発表をお願いし, その成果を共有することにより, 今後の進展に繋げていきたいと考えている。

研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

第34回メソ気象研究会

日時: 2010年10月26日(火) (大会前日) 13:30~17:00

場所: 京都大学宇治おうばくプラザ(京都府宇治市五ヶ庄)

テーマ: 「熱帯域の降水を伴うメソ擾乱の観測とモデリング」

コピナー: 山田広幸(海洋研究開発機構)

内容: 熱帯の暖かい海上(または陸上)では, 熱的に不安定な成層が一様に広がる環境のもとで, クラウドクラスターやスコールラインなど, 数十~数百kmの大きさに集団化したメソ対流系が発現することが知られています。

メソ対流系の発達には, より大きな水平規模を持つ擾乱や熱帯波動が関係している一方, メソ対流系による潜熱解放が, 擾乱や波動の発生源になっているともいわれています。このような擾乱の実態が中緯度帯の傾圧不安定波ほど明確ではないため, メソ対流系の発生を予測することは難しく, 熱帯域の子報精度の向上を阻む原因の一つになっています。しかし近年, 衛星観測の高精度化や, 雲解像数値モデルの性能向上により, メソ対流系と大規模擾乱との関係を調査することが可能となり, マルチスケール相互作用の理解が進展しようとしています。

そこで今回は, 熱帯域の降水過程やメソ擾乱に焦点を当て, 観測とモデルによる最新の研究内容を発表していただきます。熱帯だけでなく中緯度など, 幅広い方面からの多くの方々のご参加と活発な議論を期待しております。

プログラム:

1. 趣旨説明
2. 「熱帯の対流系と中緯度の対流系: 構造・組織化・環境場の影響」
竹見哲也(京大防災研)
3. 「全球非静力学数値実験における熱帯のメソ擾乱」
那須野智江(海洋研究開発機構)
4. 「Madden-Julian 振動における降雨バンドに伴う運動量の輸送効果に関する研究」
宮川知己(東大気海洋研)
5. 「東南アジア域における短期予報の精度検証」
林修吾(気象研)
6. 「熱帯メソ擾乱: 衛星観測の限界に挑む」
増永浩彦(名大地球水循環)
7. 「スーパークラウドクラスターに伴う降水システムの観測的研究」
山田広幸(海洋研究開発機構)
8. 総合討論

世話人: 坪木和久(名大地球水循環), 加藤輝之(気象庁数値予報課), 小倉義光(東大気海洋研)

連絡先: 山田広幸(海洋研究開発機構)

E-mail: yamada@jamstec.go.jp

極域・寒冷域研究連絡会

世話人: 與語基宏(日本気象予報士会), 川邊昭治(日本気象予報士会), 弘中秀治(宇部市防災危機管理課), 岩田修(日本気象予報士会), 白石晶二(日本気象予報士会)

日時: 2010年10月27日(水) (大会第1日) 18:15~2時間程度

場所: 京都テルサ 第1会議室(西館3階) (大会D会場)

話題: 雪を考える - 降雪と積雪のフィールドワーク -

「北極圏単独歩行から見た雪氷の変化」

荻田泰永(荻田泰永北極点事務局)

「北ユーラシアの積雪変動から見た北極圏気候変動」

飯島慈裕(海洋研究開発機構 地球環境変動領域)

「極域に降る雪の結晶」

菊地勝弘(北海道大学名誉教授)

内容: 観測は自然科学の基盤の一つですが, 雪氷圏の観測においては, 現地にとり着くことや観測機器における困難をしばしば伴います。今回は, 雪氷圏で観測や活動をされている方々に講演をしていただきます。特に, 積雪と降雪に関する観測的研究を取り上げます。

初めに, この春に北極圏単独歩行から戻られた荻田泰永氏から, 北極海の海水・環境に関する報告及び今後の活動の中での研究協力についてお話をいただきます。次に, モンゴルやシベリアで数年間に亘って積雪の観測を続けている飯島慈裕氏から, 北極圏規模の気候変動に関連付けたお話をいただきます。最後に, 菊地勝弘氏には, 降雪の観測, 特に雪結晶の写真を使ってお話をいただく予定です。降雪の研究として, 中谷宇吉郎先生から始まり, Magono and Lee(1966)に発展した雪(結晶)の分類が世界的に知られています。菊地氏を含めたグループでは, これまでの北極域や南極域のデータを含めて, 雪の分類の更新を目指した活動を進めています。

降雪は, 氷晶生成からそれが成長して地表に落ちるまでのせいぜい数時間程度の現象です。しかし, その降雪から作り出された積雪は, 数か月に亘り地表に維持され, 季節や年を越えた現象にまで議論が及びます。別々に議論されることが多い両者を見比べ, また, これまでの観測事実をもう一度見て, 新しい考え方や課題を生み出すチャンスにしたいと思います。

問い合わせ先: 高谷 康太郎 (JAMSTEC)

TEL: 045-778-5526 FAX: 045-778-5707

E-mail: takaya@jamstec.go.jp

URL: http://polaris.nipr.ac.jp/~pras/coolnet/cl_index

オゾン研究連絡会

日時: 2010年10月27日(水) (大会第1日) 18:00~2時間程度

場所: 京都テルサ 大会議室(東館3階) (大会B会場)

話題: (1) 「JEM/SMILES 高感度受信機が拓いた地球大気

観測の新しい可能性」 笠井康子(情報通信研究機構)

内容: 国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」暴露部に設置された超伝導サブミリ波リム放射サウンド(SMILES: Superconducting Submillimeter-wave Limb-Emission Sounder) は、2009年10月から観測を開始しました。残念ながら一部コンポーネントの故障により2010年4月21日から観測を中止していますが、この7ヶ月の観測で成層圏のオゾン化学にとって非常に重要な各種のハロゲン化合物や HO₂ などの日変化に関する、これまでに無い高感度なデータが観測されています。今回は SMILES で得られた最新のデータと現状についてお話をいただきます。

(2) 「静止衛星を用いた大気汚染観測の将来計画」 野口克行 (奈良女子大学)

内容: 現在、人工衛星から対流圏化学成分を観測する計画が日本を始め欧米で進行中であるが、今回は特に静止衛星による観測に関して、日本での活動を中心に国内外の状況等もまじえてお話いただきます。

世話人: 笠井康子 (NICT), 川上修司 (JAXA), 河本 望 (RESTEC), 永島達也 (環境研), 高島久洋 (JAMSTEC), 村田 功 (東北大院環境科学)

連絡先: 村田 功 (東北大院環境科学)

TEL: 022-795-5776, FAX: 022-795-5775

第9回統合的陸域圏研究連絡会

日時: 2010年10月27日(水) (大会第1日) 18:00~20:00

場所: 京都テルサ セミナー室(東館2階) (大会C会場)

内容: 「統合的陸域圏研究連絡会」においては、陸面を中心とする大気境界層から土壌内に渡る陸域圏を主な研究対象とし、以下の目的により活動を行っています。

- 陸域圏における物理的、生物的諸過程の理解に向けた、広い視野に立った研究のための情報交換
- 陸域圏を対象とした基礎的なメカニズムの理解と、他の圏との広域的・長期的相互作用システムの解明
- 直接観測、間接観測、およびモデリングの融合
- 空間的・時間的スケール間ギャップの問題の解決
- 正確な現状の認識と、実質的に意味のある手法の開発
- それらのための研究協力関係の構築

今回は、陸域モデルに関連する研究に焦点をあて、3名の招待講演者による講演を中心に研究会を開催いたします。

講演者および講演題目:

佐藤 永 (名古屋大学) 「気候モデルで用いられる植生モデルの概要、トレンド、問題点」

伊勢武史 (海洋研究開発機構) 「陸域生態系モデルの今後

の発展の方向性と応用の可能性」

加藤悦史 (海洋研究開発機構) 「予測モデルで利用される、土地利用シナリオ、土地利用変化排出推定プロトコルについて」

世話人: 馬淵和雄 (気象研), 大谷義一 (森林総研), 奈原 原頭郎 (筑波大), 伊藤昭彦 (環境研), 佐藤 永 (名古屋大), 大石龍太 (東大気海洋研), 立入 郁 (JAMSTEC)

代表連絡先: 馬淵和雄 (気象研)

TEL: 029-853-8722, FAX: 029-853-8728,

E-mail: kmabuchi@mri-jma.go.jp

気象懇話会

日時: 10月29日(金) (大会第3日) 18:00~20:00

場所: 京都テルサ 大会議室(東館3階) (大会B会場)

テーマ: 「気象情報の表現および伝達の知恵と工夫」

主旨: 今年も各地で猛威をふるっている『ゲリラ豪雨』、聞き始めて久しい言葉ですが、その表現の妥当性は疑問とされ、正式な気象用語として採用されていません。しかし、一方でマスメディアと一般社会の間では広く定着した感があります。

予報原稿を書くとき、伝えるとき、研究成果を発表するとき、日常会話するときなど、どんな言葉を選択すべきか、どうすれば受け手に現象の要点が正しく伝わるかは、常に気象関係者が直面する問題と言えるでしょう。

また、気象懇話会の話題は言葉の選択に限らず、市町村単位に細分化された警報のわかりやすい伝え方や、気象予報に対する知られざる潜在的ユーザーニーズの事例、次世代の地域コミュニティ防災能力を育む学校教育の提案など、気象情報の表現や伝達に関わるもの全般です。

ガイドラインとなる便利な資料や表現選択の実用ノウハウなどの紹介、あるいは日頃の悩みや疑問を起点に討論を掛け、参加者おのおのが互いの知見を交換し、拡張し合う場となることを目指します。会場でぜひ聞いてみたいこと、話して反応を確かめたいことを話題として御提供ください。

日本気象予報士会主催のイベントです。日本気象学会秋季大会への参加登録がなくても参加可能とし、参加費も無料です。

「研究会」というより、お茶でも飲みながら気軽に開かれた討論の場することを考えています。皆さまの参加をお待ちしております。

代表者: 川邊昭治 (日本気象予報士会関西支部)

連絡先: 難波良彰 (日本気象予報士会関西支部)

dwckl355@tc5.so-net.net.jp

2011年度春季大会の予告

2011年度春季大会は、2011年5月18日(水)~21日(土)に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木)で開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは2011年2月頃となる予定です。

大会第1日〔10月27日(水)〕 9:30~12:30 口頭発表

A 会場

気象予報

座長：堀田大介（気象庁）

- A101 石橋 俊之（気象研） 非晴天域の衛星輝度温度データの直接同化
- A102 岡本 幸三（気象研） 雲・降水域の衛星輝度温度データの同化に向けて
- A103 上清 直隆（気象研） ハイパースペクトル赤外サウンダの主成分の汎用性について
- A104 青梨 和正（気象研） Adaptive Localizationを使った、Ensembleに基づく4次元変分法の開発（その1）
- A105 石橋 俊之（気象研） 感度ベクトルによるデータ同化
- A106 林 洋介（気象庁数値予報） 非線形特異ベクトルの特徴と予報への適用可能性
- A107 山口 宗彦（気象庁数値予報） 台風渦中で成長する特異ベクトルの構造と成長メカニズム

座長：青梨和正（気象研）

- A108 榎本 剛（JAMSTEC） 更新された地球シミュレータ上でのアンサンブル全球大気データ同化システムの構築
- A109 黒田 徹（気象研） インクリメント法LETKFを用いた実験システムの構築（序報）
- A110 山崎 弘恵（京大院理） カットセル法を用いた2次元大気ドライモデルの性能検証
- A111 石田 純一（気象庁数値予報） 気象庁におけるメソモデルの開発
- A112 原 昌弘（気象研） 全球SVメソアンサンブルによる2010年梅雨期の予報実験
- A113 清水 慎吾（防災科研） 2010年7月5日に東京都北部に豪雨をもたらした降水システムの同化・予測実験
- A114 堀田 大介（気象庁数値予報） 現業数値予報モデルにおける太陽周期半日潮汐の表現のセンター間比較
- A115 小西 達男（津地方気象台） 2009年台風第18号により伊勢湾で生じた高潮による副振動

大会第1日 [10月27日(水)] 9:30~12:30 口頭発表

B 会場

気候システム I

座長：福富慶樹 (JAMSTEC)

- B101 今田 由紀子 (東大大気海洋研) 太平洋の熱帯不安定波がENSOに与える影響
- B102 岡山 仁 (名大院環境) 春季の東アジアにおける降水の季節進行
- B103 福富 慶樹 (JAMSTEC) 全球雲解像モデルNICAMにおけるヒマラヤ～バングラディッシュ地域の準2週間スケール降水変動と熱帯波動擾乱の再現性
- B104 伍 培明 (JAMSTEC) 中部ベトナム降水の発生に及ぼす熱帯擾乱と冬季アジアモンスーンの影響
- B105 高橋 信人 (宮城大) エルニーニョ/ラニーニャ現象発生時の日本付近における前線帯の季節進行
- B106 バユ ヌグロホ (岩手大) Relationships between the variations of rainfall in Indonesian rainy season and SOI/SST during 1980-2009 in highland area; case study in Gunung Kidul, Yogyakarta, Indonesia
- B107 杜 明遠 (農環研) チベット高原における気温の分布特性, 特に標高による変化
- B108 山口 悟 (防災科研) 山地観測データを用いた山地冬季解析雨量の精度評価
- B109 小松 麻美 (気象協会) 気象データを用いた雪崩危険度推定手法の開発
- B110 初鹿 宏壮 (富山県環境科学センター) 立山室堂周辺における融雪調査
- B111 藤部 文昭 (気象研) 極値分布関数の適合度評価に関する検討
- B112 坪田 幸政 (桜美林大) 気候変動教育のカリキュラム開発 ～EdGCMを利用した高校生向け体験講座～

大会第1日 [10月27日(水)] 9:30~12:30 口頭発表

C 会場

中層大気

座長：井上 誠（環境研）

- C101 塩谷 雅人（京大生存研） 超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(SMILES)の初期成果概要
- C102 光田 千紘（富士通FIP） JEM/SMILES L2プロダクトの改訂状況
- C103 笠井 康子（NICT） JEM/SMILES観測により得られたL2rオゾン・HCl・ClO・BrOの比較検証
- C104 高麗 正史（東大院理） 衛星ライダー観測データを用いた極成層圏雲と大気擾乱の関係の解析
- C105 大矢 麻奈未（筑波大院生命環境） 2007年南極昭和基地上空における極成層圏雲とオゾン破壊量の関係
- C106 中島 英彰（環境研） 2010年ノルウェー・ニューオルスンにおけるPSCの特性評価とオゾン破壊
- C107 秋吉 英治（環境研） オゾン層将来予測実験とハロゲン・温室効果ガスに関するその感度実験の極渦崩壊時期
- C108 中村 哲（環境研） 環境研CCM-LETKFを用いた大気-オゾン同時推定と三次元オゾンプロファイル利用のインパクト
- C109 富川 喜弘（極地研） 南極域対流圏界面逆転層の短期変動要因
- C110 井上 誠（環境研） 北半球秋季における成層圏QBOと対流圏循環との関係 —気象研究所化学気候モデルを用いた解析—
- C111 鈴木 順子（JAMSTEC/RIGC） 熱帯対流圏界面付近にみられる赤道ケルビン波活動度のENSO依存性
- C112 妻鹿 友昭（京大生存研） 熱帯対流圏界層に発生するケルビンヘルムホルツ(KH)不安定の観測的研究
- C113 岡本 功太（東大院理） Brewer-Dobson循環の形成に対する放射加熱率と波強制の影響
- C114 木下 武也（東大院理） 成層圏の物質輸送における擾乱の役割について
- C115 野田 彰（JAMSTEC） TEMの非中立波動擾乱への拡張 —対称渦拡散テンソルの導入—

大会第1日 [10月27日(水)] 9:30~12:30 口頭発表

D 会場

大気境界層

座長：近藤裕昭（産総研）

- D101 田中 真也（防衛大地球海洋） スケールモデルサイトにおける温度分散法を用いたゼロ面変位の推定
- D102 島本 瞳（兵庫県大環境） ラフネス・サブレイヤの大気乱流—風洞実験による研究
- D103 森 文洋（北大環境院） PIV法を用いた接地境界層における乱流構造の把握 —観測システム開発と予備実験結果—
- D104 伊藤 純至（東大大気海洋研） 環境場の回転のDust Devilへの影響
- D105 青木 智和（日本気象(株)） ドップラーソーダによる大気境界層組織的乱流の観測
- D106 小田 僚子（NICT） ドップラーライダーを用いた大気境界層乱流スケールの推定
- D107 小司 禎教（気象研） GPS掩蔽法による大気境界層高度解析
- D108 河野 仁（兵庫県立大） 都市における乱流拡散係数の推定—タワーを使った温位鉛直分布と乱流観測
- D109 菅原 広史（防大地球） 都市内緑地における熱・二酸化炭素フラックスの季節変化
- D110 近藤 裕昭（産総研） 端のある森林キャノピーを模した風洞実験と数値実験
- D111 重田 祥範（岡大院自然） 気象統計項目からみたヒートアイランド現象
- D112 増田 仙一（京大院人環） 異なる地表環境における鉛直気温プロファイル
- D113 小松 謙介（三重大院生物資源） ラジオゾンデ観測の新手法を用いた鈴鹿おろし観測について
- D114 荒木 健太郎（銚子地方气象台） 新潟県とその沿岸海上におけるだし風の再現実験
- D115 木村 富士男（JAMSTEC） 晴天日における局所的高温現象の再現

大会第1日 [10月27日(水)] 13:30~17:00 口頭発表

A 会場

スペシャル・セッション「黄砂とバイオエアロゾル：発生-輸送-分布-沈着-影響評価へのモデル化-」

座長：長田和雄（名大院環境）

A151 三上 正男（気象研）ダストの発生・輸送・沈着過程の観測・解析・モデリング

座長：三上正男（気象研）

A152 石塚 正秀（香川大工）モンゴル半乾燥草地における 10メートル観測塔のダスト濃度の予備観測

A153 Kang Jung-Yoon（気象研）Comparison of different dust emission schemes by implementing them into WRF/Chem

A154 黒崎 泰典（鳥大乾地研）ダスト(黄砂)発生の原因—風と土壌・地表面状態の影響評価

A155 甲斐 憲次（名大院環境）夏季のタクラマカン砂漠におけるダストストームをもたらしたガストフロントの鉛直構造

座長：甲斐憲次（名大院環境）

A156 神 慶孝（名大院環境）二波長・偏光ライダーで観測されたタクラマカン砂漠におけるダストの挙動

A157 竹見 哲也（京大防災研）ダストの鉛直輸送に係る境界層の構造と発達高度

A158 原 由香里（環境研）地上/衛星搭載ライダーにより示された東アジア域における非球形エアロゾル分布の季節変動

A159 松木 篤（金沢大FSO）能登半島で観測された黄砂粒子の混合状態

座長：松木 篤（金沢大FSO）

A160 長田 和雄（名大院環境）ダスト粒子の湿性・乾性沈着量分布

A161 田中 泰宙（気象研）乾性・湿性別観測との比較による全球ダストモデルの改良

A162 清水 厚（環境研）CALIPSO搭載ライダーを利用したダスト偏光解消度の地域特性解析

A163 鶴野 伊津志（応用力学研究所）2010年春に北米を連続的に覆ったアジア起源ダスト

座長：長田和雄（名大院環境）

A164 常松 展充（千葉大CEReS）温暖化の空間パターンが黄砂発生の将来変化に及ぼす影響

A165 柿川 真紀子（金沢大環日センター）能登半島上空における黄砂時と非黄砂時のDNA濃度および生物種比較

A166 牧 輝弥（金沢大）蛍光標識核酸プローブを用いた黄砂バイオエアロゾルの遺伝学的識別手法の確立

総合討論

※各講演の持ち時間は12分（講演10分＋質疑応答2分）です。

大会第1日 [10月27日(水)] 13:30~17:00 口頭発表

B 会場

スペシャル・セッション「異常気象と低周波変動」

趣旨説明

座長：向川 均（京大防災研）

- B151 萱場 互起（気象庁気候情報）北半球中緯度に顕著な寒波をもたらした大気の流れについて
- B152 原田 やよい（気象庁気候情報）北半球冬季に発生した顕著な負の北極振動イベント時の循環場の特徴
- B153 小寺 邦彦（名大STE研）2010年正月に起きた中国北部，韓国の豪雪に対するインド洋対流活動の役割
- B154 高谷 祐平（気象庁気候情報）気象庁1か月予報における2009/2010年冬の予測について
- B155 今田 由紀子（東大大気海洋研）高解像度大気海洋結合モデルによって再現された北極振動に対するエルニーニョ及び成層圏突然昇温の関わり
- B156 岩崎 俊樹（東北大院理）北極寒気放出指数の試作
- B157 田中 博（筑波大CCS）北極振動指数のカオス性の検証とAOI方程式の導出

座長：中村 尚（東大院理）

- B158 西井 和晃（東大院理）ブロッキング高気圧と成層圏への惑星波伝播の変動
- B159 森 正人（東大大気海洋研）大気海洋結合モデルによる夏季ブロッキング高気圧の再現性
- B160 近本 喜光（東大大気海洋研）熱帯大西洋のSST変動をもたらす熱帯大西洋外部からの影響
- B161 小坂 優（ハワイ大IPRC）遠隔影響パターンによる梅雨前線域の降水偏差の誘起メカニズム
- B162 長屋 幸一（富大院理）冬季東アジアのコールドサージの発生プロセスと熱帯大気の応答

座長：木本昌秀（東大大気海洋研）

- B163 山本 一輝（富山大院理工）インド洋・西太平洋における暖候期の熱帯対流活動：自己組織化マップの適用
- B164 松村 伸治（北大院地球環境）東シベリアの融雪水効果による夏季北ユーラシア大気陸面相互作用
- B165 安富 奈津子（地球研）長期高解像度日平均降水データからみた20世紀初頭からの日本の梅雨季降水の長期変化
- B166 渡部 雅浩（東大大気海洋研）MIROC5におけるENSOのコントロール
- B167 望月 崇（JAMSTEC）高解像度大気海洋結合モデルMIROC4を用いた近未来気候変動予測実験
- B168 坂井 大作（九大院理）温暖化に伴う北半球SLP・500hPa高度偏差場の年々変動の長期変化

大会第1日 [10月27日(水)] 13:30~17:00 口頭発表

C 会場

スペシャル・セッション「温室効果ガス観測技術衛星GOSAT「いぶき」の利用研究」

座長：今須良一（東大大気海洋研）

- C151 久世 暁彦 (JAXA) いぶき搭載温室効果ガス観測センサの校正状況
- C152 吉田 幸生 (環境研) GOSAT TANSO-FTS SWIR による二酸化炭素・メタンのカラム平均濃度導出手法の改良
- C153 江口 菜穂 (環境研) GOSAT TANSO-FTS SWIR から導出された二酸化炭素・メタンのカラム平均濃度の季節変化
- C154 齋藤 尚子 (千葉大CEReS) GOSAT/TANSO-FTSバンド4から導出されたCO₂およびCH₄濃度の特徴
- C155 今須 良一 (東大大気海洋研) GOSAT/TANSO-FTSの分光器内部温度と熱赤外スペクトルの校正精度

座長：江口菜穂（環境研）

- C156 内野 修 (環境研) GOSAT から得られたCO₂とCH₄のカラム平均濃度の検証
- C157 伊吹 紀男 (京大院工) 二酸化炭素カラム密度計測装置の開発
- C158 石田 春磨 (山口大工) MODISとの比較によるGOSAT-CAI雲スクリーニング結果の検証
- C159 江口 菜穂 (環境研) GOSAT TANSO-FTS スペクトルデータを用いた巻雲識別手法の開発
- C160 福田 悟 (東大大気海洋研) GOSAT/CAIをもちいたエアロゾルプロダクトの導出

座長：小田知宏（環境研）

- C161 高木 宏志 (環境研) GOSATレベル2データを用いた亜大陸規模での二酸化炭素吸収排出量の推定—GOSATレベル4データの準備状況—
- C162 眞木 貴史 (気象研) 炭素循環解析へのGOSAT観測データの利用について
- C163 小田 知宏 (環境研) 大規模点排出源の排出量モニタリングに向けた「いぶき」GOSAT 観測データ解析
- C164 齊藤 誠 (環境研) 観測データに基づいた全球陸域生態系モデルの最適化
- C165 Shamil Maksyutov (環境研) Global high resolution atmospheric CO₂ simulation with 1×1 km surface fluxes and coupled (Eulerian/Lagrangian) model
- C166 林田 佐智子 (奈良女大理) 衛星観測データから得られたモンスーンアジア地域のメタン変動—水田からの発生との関連—
- C167 金 憲淑 (地球研) Potential contribution to the increase of atmospheric methane in 2007

※各講演の持ち時間は12分（講演10分+質疑応答2分）です。

大会第1日〔10月27日(水)〕 13:30~17:00 口頭発表

D 会場

観測手法

座長：川村誠治 (NICT)

- D151 金 東順 (防災科研) Microphysical Retrievals from Dual-Polarization Radar Measurements at X-Band
- D152 山本 真之 (京大生存研) 局地観測用 X 帯気象レーダーによるドップラー速度観測
- D153 池野 伸幸 (RISH) 35 GHz 帯 FMCW 気象レーダーによるドップラー速度観測
- D154 山内 洋 (気象研) C バンド固体素子二重偏波レーダーによる降水強度推定の検証
- D155 小林 隆久 (気象研) 雲・降水レーダーシミュレーターの開発-2-
- D156 足立 アホロ (気象研) レーダーシミュレーターによる偏波パラメータ計算結果のレーダー観測への応用
- D157 川村 誠治 (NICT) 沖縄偏波降雨レーダ COBRA を用いた改良型バイスタティック降雨レーダシステム実証実験
- D158 関澤 信也 (NICT) Spano 符号を振幅制御したウィンドプロファイラによる降雨エコー観測
- D159 本吉 弘岐 (防災科研雪氷) 地上降雪粒子観測による鉛直降水レーダー反射率の推定

座長：岩井宏徳 (NICT)

- D160 青梨 和正 (気象研) 新しい陸上のマイクロ波放射計降水リトリバルアルゴリズムの開発 (その1)
- D161 長澤 親生 (首都大システムデザイン) CO₂ 濃度鉛直分布観測用次世代ライダーの開発 (2)
- D162 岩井 宏徳 (NICT) 折り返しミラーを用いたドップラーライダーによる擬似デュアル観測
- D163 阪井 雅洋 (いであ(株)) インターバルデジタルカメラを用いた霧の観測
- D164 中村 和彦 (東大院新領域) 定点ハイビジョン撮影と樹上自動撮影によるカスミザクラ開花フェノロジーの観察
- D165 松本 教久 (東洋大院生命科学) 環境気象と動物行動の複雑性との関係について - 局所的フラクタル次元による解析 -

大会第2日〔10月28日(木)〕 9:05~12:00 口頭発表

A 会場

スペシャル・セッション「温暖化予測のための力学的および統計的ダウンスケーリング研究の現状と問題点」

座長：高藪 出（気象研）

- A201 稲津 将（北大院理） 双方向ネスト実験は GCM バイアスを低減できるか？—1997年夏の例
- A202 佐藤 友徳（北大院地球環境） 中国東部およびモンゴルにおける地域気候モデルの降水再現性の検証
- A203 原 政之（RIGC） 長期気候値差分を用いた擬似気候実験の検証
- A204 大泉 三津夫（気象大） マルチモデルアンサンブル実験での地域気候モデルの降積雪特性 その3. NHRCMの熱収支
- A205 西森 基貴（農環研） 同じ境界条件による統計的／力学的ダウンスケーリング結果の日本域における推定誤差検証
- A206 飯泉 仁之直（農環研） 統計的ダウンスケーリングによる地点・日別気候変化シナリオデータセット

座長：木村富士男（JAMSTEC）

- A207 石崎 紀子（気象研） モデルの空間解像度に応じた観測データと検証方法について
- A208 石崎 安洋（気象研） 地域気候マルチモデルアンサンブルによる日本陸上域の降水の再現性
- A209 若月 泰孝（JAMSTEC） 気候差分ダウンスケーリング法開発の計画と課題
- A210 日下 博幸（筑波大計算科学） 三大都市圏を対象とした夏季気候の再現計算と将来予測（その2） GCMアンサンブルデータを用いた疑似温暖化実験
- A211 栗原 和夫（気象研） 非静力学地域気候モデル(MRI-NHRCM)の完全境界実験による精度評価 —九州領域および関西領域—
- A212 高藪 出（気象研） ダウンスケーリングプロジェクトにおけるデータの流れについて

総合討論

大会第2日〔10月28日(木)〕 9:05~12:00 口頭発表

B 会場

スペシャル・セッション「金星気象衛星「あかつき」の科学」

座長：松田佳久（東京学芸大学）

- B201 今村 剛 (JAXA) 「あかつき」が惑星気象学にもたらすもの
- B202 山田 学 (JAXA) 金星探査機あかつき搭載紫外イメージャ
- B203 岩上 直幹 (東大) 「あかつき」搭載 1 μ mカメラ IR1
- B204 佐藤 毅彦 (JAXA) 「あかつき」搭載 IR2 カメラで探る金星気象
- B205 田口 真 (立教大) Longwave Infrared Camera onboard the Akatsuki spacecraft
- B206 安藤 紘基 (東大院理) あかつき電波掩蔽による金星大気の温度分布と硫酸蒸気分布の観測計画
- B207 小郷原 一智 (宇宙研) あかつき高次データプロダクトによる金星大気研究
- B208 細内 麻悠 (東大院理) 金星星面の地上赤外分光観測による大気波動現象の抽出
- B209 神山 徹 (東大院理) 金星雲頂高度で見られる東西風速の周期的変動について
- B210 山本 勝 (九大応力研) 金星中層大気 GCM 中の惑星スケール波と超回転
- B211 星野 直哉 (東北大院理) 金星中間圏・熱圏大気循環における大気波動の影響
- B212 山本 博基 (京大院理) ギーラシメカニズムに基づくスーパーローテーションの理論的研究 ～代数方程式によるオーダー見積もり～
- B213 池田 恒平 (東大大気海洋研) 新しい金星大気放射伝達モデルを用いた放射対流平衡実験
- B214 高木 征弘 (東大院理) 放射輸送を考慮した金星大気大循環の数値シミュレーション

大会第2日 [10月28日(木)] 9:05~12:00 口頭発表

C 会場

台風

座長：筆保弘徳（横浜国大）

- C201 星野 俊介 (気象研) TIGGE 台風アンサンブル予測閲覧サイトの紹介
- C202 筆保 弘徳 (横浜国大) 台風発生をもたらすシステムスケール発達プロセス
- C203 那須野 智江 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルを用いた台風 0806 号(Fengshen)再現実験 第2報
- C204 豊嶋 紘一 (名大院環境) 熱帯低気圧発達初期における降水の鉛直構造
- C205 釜堀 弘隆 (気象研) 台風場の降水量分布
- C206 相澤 拓郎 (筑波大院生命環境) 全球非静力学モデル NICAM を用いた台風の数值実験と最盛期のコア構造
- C207 徳野 正己 (気象研) 衛星連続観測 3.8 μ m 反射率による台風(0815)の眼の壁雲の特徴
- C208 大野木 和敏 (気象研) 気象庁全球解析における台風ボーガスの改良
- C209 吉岡 真由美 (名大地球水循環) 台風シミュレーションにおける強度比較 - 三次元非静力学大気海洋結合モデル(CReSS-NHOES)の開発・検証 -
- C210 横井 覚 (東大大気海洋研) 大西洋における熱帯低気圧の存在頻度の長期変動
- C211 吉村 純 (気象研) 高解像度全球大気モデルの長期積分における熱帯低気圧
- C212 奥 勇一郎 (京大防災研) 既往台風による可能最大風速・降水量の推定とその妥当性の検証

大会第2日〔10月28日(木)〕 9:05～12:00 口頭発表

D 会場

降水システム I

座長：田尻拓也（気象研）

- D201 村上 正隆（気象研） 暖候期四国上空における雲・エアロゾル特性（その4）
- D202 大野 裕一（NICT） W-band レーダによるシーディング有効雲のモニター観測(2)
- D203 藤田 浩史（気象協会） 人工降雨実験観測データを用いた人工降雨有効雲の定性的判定法の試み(3)
- D204 田尻 拓也（気象研） MRI 雲生成チェンバーによる雲物理実験 フレアー法（その2）
- D205 小池 克征（いであ(株)） 地上観測データを用いたシーディング効果判定法に関する研究
- D206 大竹 秀明（気象研） 山岳性降雪雲内における航空機観測と雲解像モデルとの統計的な validation
- D207 石坂 雅昭（防災科研雪氷） 光学的ディストロメーターによる降雪粒子観測 - CCD カメラ画像観測との比較 -
- D208 小西 啓之（大阪教育大） 融解過程の降雪粒子の観測
- D209 菊地 勝弘（元北大院理） 中緯度と極域での観測に基づいた新しい雪結晶分類の提案
- D210 山下 晃（所属なし） 扇形結晶及び樹枝状結晶の成長機構 - 中谷宇吉郎の人工雪実験から -
- D211 清水 俊成（福岡大理） 露点-70℃での微小氷晶形成実験 - 氷晶核の活性化条件と氷晶形態 -

座長：猪上華子（気象研）

- D212 楠 研一（気象研） 庄内平野で観測された突風と気象じょう乱-2009～10年冬季-
- D213 楠 研一（気象研） 2009年12月12日に庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱
- D214 猪上 華子（気象研） 庄内平野で観測されたマイクロスケールの渦の立体構造と発達過程
- D215 新井 健一郎（JR 東日本防災研） 小型ドップラー気象レーダーを用いた突風探知システムのプロトタイプの開発 - 地上突風事例における渦パラメータ特性の把握 -
- D216 西橋 政秀（気象研） 庄内突風観測プロジェクトによる冬季雷観測 - 雷放電を伴う積乱雲の特徴 -

大会第3日 [10月29日(金)] 9:30~11:30 口頭発表

A 会場

気候システムII

座長 : 釜堀弘隆 (気象研)

- A301 村上 茂教 (気象研) 氷期気候系における局所エネルギー収支 –その季節性–
- A302 大垣内 るみ (JAMSTEC) PMIP2 完新世中期シミュレーションにおけるアジアモンスーン強化への現在気候シミュレーションの海面水温バイアスの影響評価
- A303 吉田 聡 (JAMSTEC) Emanuel 対流スキームへの可変エントレインメント率の適用
- A304 大石 龍太 (東大大気海洋研) サブグリッド積雪被覆スキームの導入による大気大循環モデルMIROC5に対する影響
- A305 釜堀 弘隆 (気象研) 再解析プロダクトにおける降水量の品質 (その2)
- A306 小畑 淳 (気象研) 大気メタン急激増加に対する気候炭素循環モデルの応答 –各種感度実験–
- A307 川瀬 宏明 (環境研) 炭素性エアロゾルの増加が20世紀のアフリカ南部の降水変化に及ぼす影響
- A308 水田 亮 (気象研) 改良された20km 全球大気モデルによる現在気候・将来気候実験
- A309 佐藤 正樹 (東大大気海洋研) NICAM で予想された温暖化に伴う上層雲の変化

大会第3日 [10月29日(金)] 9:30~11:30 口頭発表

B 会場

中高緯度大気

座長 : 飯島慈裕 (JAMSTEC)

- B301 安成 哲平 (NASA/GSFC (GEST/UMBC)) NASA catchment-based land surface model に取り入れたブラックカーボンとダストを考慮した積雪アルベドモデル : 2003/2004 冬季札幌での検証例
- B302 坪木 和久 (名大 HyARC) 冬季寒気吹き出し時に日本海上に発生する竜巻の特性
- B303 飯島 慈裕 (RIGC/JAMSTEC) 2009-10 年冬季のユーラシア大陸の寒気と接地逆転層発達
- B304 遊馬 芳雄 (琉球大理) Winter T-PARC 期間中に観測された“Atmospheric River”
- B305 中村 元隆 (JAMSTEC) 夏の親潮続流フロント域の SST 偏差が大規模大気場に与える強い影響について
- B306 小守 信正 (JAMSTEC/ESC) 大気海洋結合モデルにおける中緯度海面水温前線域での結合係数
- B307 児玉 安正 (弘前大院理工) 対流圏界面中間規模波動に伴う上層雲
- B308 木村 詞明 (東大新領域) 北極海における冬季海氷移流と夏季海氷分布との関係
- B309 青木 輝夫 (気象研) 積雪のアルベド低下をもたらす原因について
- B310 庭野 匡思 (気象研) 不純物濃度の変化と気温上昇に対する積雪の応答
- B311 鈴木 香寿恵 (極地研) 南極氷床への大気輸送起源の空間分布

大会第3日 [10月29日(金)] 9:30~11:30 口頭発表

C 会場

熱帯大気

座長：森 修一 (JAMSTEC)

- C301 山田 広幸 (JAMSTEC) PALAU-2010 集中観測期間における大気と海洋表層の変動
- C302 森 修一 (JAMSTEC) インドネシア・ジャカルタ広域首都圏における豪雨発生環境について—HARIMAU2010 集中観測結果速報—
- C303 Nurjanna Joko Trilaksono (京大院理) Numerical Study of Heavy Rainfall during Jakarta Flood Event 1 February 2007
- C304 寺尾 徹 (香川大教育) バングラデシュ北東部メガラヤ山脈南縁豪雨地帯における高層気象観測
- C305 村田 文絵 (高知大理) チュラプンジにおける降水過程に関する研究(第5報)
- C306 山中 大学 (SATREPS-MCCOE PO/BPPT, Indonesia) 赤道域気象・海洋学研究のブレイクスルー:「海大陸 COE」構築始まる
- C307 須賀 友也 (神戸大院理) 東インド洋・海洋大陸・西太平洋領域の季節内・季節・経年変動
- C308 金丸 佳矢 (名大院環境) 熱帯・亜熱帯海洋上の水蒸気鉛直構造についての衛星観測的研究
- C309 杉 正人 (JAMSTEC) 高分解能雲解像モデルによる熱帯太平洋の深い対流雲のシミュレーション
- C310 山岬 正紀 (JAMSTEC) マデン・ジュリアン振動の理解に向けて—静力学モデル (0.2 度格子) による数値実験(2)
- C311 吉崎 正憲 (RIGC) positive-only wave CISK (POWC)を用いたモデルによるスーパークラスターの再現

大会第3日 [10月29日(金)] 9:30~11:30 口頭発表

D 会場

大気力学

座長：前島康光（名大地球水循環）

- D301 前島 康光（名大地球水循環） 前線不安定によるメソスケール擾乱における準地衡近似の適用について
- D302 末吉 雅和（気象研） 一般化された2次元流体系における平行流の安定性：最大成長擾乱の波数について
- D303 板野 稔久（防衛大地球海洋） 惑星渦度の水平成分を考慮した対称不安定における上下境界条件の影響(その2)
- D304 齊藤 直彬（京大院理） 回転軸が鉛直方向から傾いた系における熱対流と平均流の相互作用 —安定定常なロール状対流による平均流加速—
- D305 村上 真也（神戸大院自然） フィラメントが2次元楕円渦の軸対象化に果たす役割
- D306 伊賀 啓太（東大大気海洋研） 地衡流ジェットから生じる渦列における混合領域の見積もり
- D307 増子 友紀（東海大理） 閉ループ内熱対流実験 ～カオス反転に挟まれた安定～
- D308 三村 和男（東海大教養学） 無限自由度を持つ現実流体中の小自由度カオス ～スペクトル法による考察2～
- D309 松島 和宏（東海大理） 半球規模回転水槽で自発的に生じた西進波動について
- D310 加藤 亮平（九大院理） 木星大気大規模渦の数値モデリング
- D311 納多 哲史（神戸大院理） 同期回転惑星における太陽定数増大実験

大会第3日 [10月29日(金)] 13:30~17:00 口頭発表

A 会場

スペシャル・セッション「マルチ気候モデルデータ解析による地球温暖化現象の理解」

座長：木本昌秀（東大大気海洋研）

- A351 塩竈 秀夫 (環境研) 異なる気候感度を持つ大気海洋結合モデルにおける対流圏調節とフィードバック
- A352 廣田 渚郎 (東大大気海洋研) 2001年以降の再解析データを用いたCMIP3将来予測実験の検証の試み
- A353 井上 知栄 (筑波大院生命環境) 温暖化時の梅雨明けと広域SST昇温パターンとの関係
- A354 遠藤 洋和 (気象研) CMIP3マルチモデルにおけるヤマセに関連した大規模循環場の再現性と将来変化(その2)
- A355 西井 和晃 (東大院理) 夏季北極圏のストームトラックのCMIP3中での再現性
- A356 Laine Alexandre (東大院理) Seasonal and long-term variations in the North Pacific storm track simulated in CMIP3 models from a viewpoint of active and inactive daily regimes
- A357 平原 翔二 (気象庁気候情報) CMIP3にみられる温暖化時の日本の夏の季節進行の変化

座長：高藪 縁（東大大気海洋研）

- A358 二宮 洸三 (JAMSTEC) 気候温暖化に伴う梅雨期日降水量強雨特性の変化についてのCMIP3モデル相互比較
- A359 佐藤 尚毅 (東京学芸大) CMIP3マルチ気候モデルにおける季節内変動の再現性
- A360 高橋 千陽 (JAMSTEC/RIGC) CMIP3マルチ気候モデルにおける冬季MJOとその亜熱帯・中緯度アジア域への影響の再現性および将来変化
- A361 清木 亜矢子 (JAMSTEC) CMIP3マルチモデルにおける西風バーストとENSOの再現性とその将来変化
- A362 尾瀬 智昭 (気象研) 温暖化時降水量変化予測の不確定性と海面水温変化分布
- A363 末吉 雅和 (気象研) CMIP3マルチモデルデータによる日本付近の海面高度の将来変化
- A364 安田 珠幾 (気象研) 日本沿岸平均水位変動とトレンドーCMIP3マルチモデルの再現性と将来予測ー

座長：尾瀬智昭（気象研）

- A365 大島 和裕 (北大地球環境) CMIP3マルチ気候モデルにおける環太平洋域の内部変動と温暖化トレンドの比較
- A366 市川 裕樹 (名大院環境) 熱帯海洋上空の弱下降流域における雲の放射影響力の気候モデル再現性
- A367 筒井 純一 (電中研) 台風に関連する降水の地球温暖化による変化についての簡易評価
- A368 道広 有理 (京大防災研) 流域スケールの解析に向けたCMIP3マルチ気候モデルのデータ活用法について
- A369 佐藤 嘉展 (京大防災研) AGCM20とCMIP3マルチ気候モデルを用いた日本の主要河川における流域災害予測
- A370 河谷 芳雄 (JAMSTEC) 地球温暖化時の赤道準2年振動
- A371 谷田貝 亜紀代 (地球研) Use of APHRODITE rain-gauge with TRMM3B42 datasets within a suite of coupled atmosphere ocean models for seasonal Asian monsoon forecasts

大会第3日〔10月29日(金)〕 13:30～17:00 口頭発表

B 会場

スペシャル・セッション「気象情報・知識の伝達・普及（Ⅱ）」

座長：難波良彰（日本気象予報士会）

- B351 高橋 清和（大阪管区気象台） 防災気象情報作成における気象台での配慮と工夫
- B352 佐藤 晋介（NICT） 気象庁極座標レーダーデータの活用方法－沖縄糸数レーダーと COBRA の dual-Doppler 観測－
- B353 竹村 俊彦（九大応力研） 大気汚染および黄砂現象に関する情報提供のあり方について
- B354 新井 直樹（電子航法研） 気象情報可視化ツール Wvis の開発 ～気象の見える化を目指して～
- B355 片平 敦（気象予報士会） 気象台と視聴者との架け橋・気象解説者 ―“心に響く”解説をめざして―
- B356 川西 勝（読売新聞大阪） 減災に貢献できる新聞報道の実践に向けて
- B357 堀江 祐圭（気象協会） 気象情報画面におけるカラーユニバーサルデザイン導入の試み
- B358 宇田川 真之（DRI） 聴覚障害者むけ気象災害情報 FAX 送信支援システムの試作
- B359 鈴木 晶子（気象予報士会） 気象情報の知識普及について
- B360 白石 晶二（気象予報士会） 気象防災知識の普及をどう進めるか[2]
- B361 土井 修二（気象予報士会） 地元在住の気象予報士を活用した台風防災の改善提案－京丹波における消防団出動指示判定プロセスの改善案－
- B362 岸 文彦（日本航空） 航路上の揺れに関する情報の伝達とその工夫について
- B363 名越 利幸（岩大教育） 「学校気象台」地域連携ネットワークの構築－Ⅱ－ ー岩手大学発信地域連携事業ー
- B364 馬場 賢治（京都産業大全セ） 教職課程学生の地球温暖化に関する意識
- B365 村山 保（京都府立桃山高校） 生徒と取り組んだ積乱雲観測（バックビルディング積乱雲に迫る）
- B366 平松 章男（北陸先端大知識） 異常天候早期警戒情報の確率予測資料を利用した意思決定支援について
- B367 富山 芳幸（WEED） 予報と社会的便益との間を橋渡しするために
- B368 中村 一樹（北大院地球環境） 新たな観光資源「トマムの雲海」を通じた産学連携の学びの実践～トマム雲海仙人の雲修行～

大会第3日〔10月29日(金)〕 13:30~17:00 口頭発表

C 会場

降水システムII

座長：清野直子（気象研）

- C351 加藤 輝之（気象庁数値予報）2010年西日本に大雨をもたらした梅雨前線帯の特徴
- C352 金田 幸恵（JAMSTEC/気象研）15年分の解析雨量を用いた梅雨期日本周辺域の降水の日変化について
- C353 野村 昇平（京大防災研）関東平野南部において夏期の午後に発生する局地豪雨の発生環境場に関する研究
- C354 山田 芳則（気象研）2010年7月5日東京・板橋区内に豪雨をもたらした積乱雲の構造
- C355 清野 直子（気象研）東京における強雨事例のシミュレーション(2) -2010年7月5日の事例解析-
- C356 山中 徹（鹿島建設）数値モデルによる短時間局所強雨の解析（その1）2005年8月15日に東京で発生した短時間強雨の水蒸気輸送
- C357 津口 裕茂（気象研）東海豪雨の再現実験
- C358 渡邊 明（福島大理工）寒気域で形成された降雨システムの構造
- C359 山本 勝（九大応力研）2001年10月9~10日の黄海・東シナ海と日本海・日本南岸の二つ玉低気圧の数値実験（その2）
- C360 廣川 康隆（気象庁予報）2008年4月7日-8日に日本の南岸で発達した低気圧の絶対渦度収支解析
- C361 山田 芳則（気象研）北海道西岸帯状雲の形成機構に関する数値実験
- C362 竹見 哲也（京大防災研）様々な力学的・熱力学的環境場におけるスコールラインの発達強度
- C363 中里 真久（気象研）孤立積乱雲の強度分布と最大鉛直速度
- C364 中村 晃三（RIGC/JAMSTEC）未飽和環境における飽和気塊の安定性〜特に Betts の中立成層との比較〜

座長：小林文明（防衛大）

- C365 小林 文明（防大地球海洋）夏季関東平野における積乱雲の発生特性 ―晴天日に観測されたファーストエコーの統計的な特徴―
- C366 岩井 宏徳（NICT）ドップラーライダーにより観測された局地的大雨の降雨域周辺の風速場
- C367 真木 雅之（防災科研）マルチパラメータレーダネットワーク合成雨量
- C368 妻鹿 友昭（京大生存研）50 MHz 帯・1.3 GHz 帯レーダーを用いた層状性降水における粒径の導出
- C369 尾上 万里子（名大地球水循環）梅雨期沖縄域における対流セル内の偏波パラメータから見積もった雨滴粒径分布パラメータ
- C370 中井 専人（防災科研雪氷）長岡における Zdr と卓越降雪粒子パラメーターの比較
- C371 山口 弘誠（京大生存基盤ユニット）偏波レーダーを用いた混在状態を考慮に入れた降水粒子種類判別手法の構築
- C372 林 修吾（気象研）雲解像モデルの物理量を用いた発雷予測手法の開発

大会第3日〔10月29日(金)〕 13:30~17:00 口頭発表

D 会場

物質循環システム

座長：酒井 哲（気象研）

- D351 藤吉 康志（北大低温研） 様々な地表面・大気条件下での水蒸気の水素・酸素安定同位体比の短時間変動特性（その1） 札幌での2009年5月1日の観測事例
- D352 近藤 沙綾子（奈良女大院） 東アジア付近の対流圏オゾン気柱量に見られる高濃度帯(E-TCO)の成因と季節変動の原因に関する研究
- D353 中谷 彩（奈良女子大院） 衛星で観測された対流圏オゾン気柱量の変動解析 ー対流圏オゾン高濃度域とジェット気流の関係ー
- D354 川瀬 宏明（環境研） RCPに基づいた対流圏オゾンの将来予測
- D355 五藤 大輔（東大大気海洋研） BCの大気変質過程のパラメタリゼーションの全球モデルへの導入
- D356 安成 哲平（NASA/GSFC (GEST/UMBC)) ヒマラヤの氷河に乾性沈着するブラックカーボン量のモデル間の見積もり誤差
- D357 大島 長（気象研） 自由対流圏中で観測されたブラックカーボンの降水による除去過程
- D358 梶野 瑞王（東大先端研） 東アジアにおけるエアロゾル微視的特性のモデル解析
- D359 原 和崇（熊本県立大環境共生） 熊本市における黄砂時の大気中浮遊細菌数濃度の観測事例
- D360 酒井 哲（気象研） 夏季人工降雨実験における2波長・偏光ライダー観測：エアロゾルキャラクターゼーションと航空機観測による検証
- D361 入江 仁士（JAMSTEC） 人工衛星による対流圏NO₂・エアロゾルの観測 ー東アジアにおけるトレンド解析に着目してー

大気放射

座長：工藤 玲（気象研）

- D362 石元 裕史（気象研） Poisson-Voronoi 構造と粒子画像情報を用いた鉱物・氷晶粒子形状のモデル化
- D363 工藤 玲（気象研） つくばにおけるエアロゾル光学特性の長期変動と地上日射への影響
- D364 橋本 真喜子（東大大気海洋研） SKYNET データ解析から得られるエアロゾル吸収特性の検討
- D365 岡本 創（九大応力研） CALIOP による氷粒子の後方散乱係数の波長比の全球解析
- D366 松井 隆（東海大） 全天雲カメラ画像および CloudSat/CALIPSO 雲フラグデータを用いた光学センサ用雲判別アルゴリズム CLAUDIA の性能評価
- D367 広瀬 民志（京大院理） ISCCP 衛星雲観測データに含まれる天頂角以外の問題
- D368 近藤 雅征（福島大理工） Establishment of the Acceptable Parameter Range of Chlorophyll Photointeractions for Terrestrial Ecosystem Model

大会第1日 [10月27日(水)] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P101 縄田 恵子(筑波大院生命環境) WRF を用いた首都圏の降水シミュレーション —都市の降水へのインパクト調査—
- P102 小池 克征(いであ(株)) 気象モデル WRF と A2Cflow の結合テスト— 夏季晴天日の計算事例 —
- P103 倉持 真之(東北大院理) JMA-NHM を用いた仙台における気温場の数値実験
- P104 柏浦 徹(筑波大院生命環境) つくば市内の複数地点で観測された気象要素の季節進行と JMA-GSM 出力値との比較
- P105 大橋 唯太(岡山理大総合情報) ソメイヨシノの開花と気温・黒球温度の地理的分布 —岡山県岡山市の場合—
- P106 佐々木 華織(東北農研) 傾斜地対応型簡易気象観測用ポールの考案
- P107 山口 力(筑波大院生命環境) 「海の森」における温熱環境の観測
- P108 瀬戸 芳一(首都大院都市環境) 取東・発散場から見た関東平野における夏季海風日の風系の日変化
- P109 紺野 祥平(首都大院都市環境) 関東平野西部の丘陵地帯における冬季夜間の気温逆転の特徴
- P110 柚山 洋一(岡山大院環) 落葉広葉樹林における蒸発散量の変動要因と流域水収支の解析
- P111 佐川 正人(釧路高専) 知床半島羅臼における強風時の気圧変動
- P112 西垣 肇(大分大教福) 宇曾岳北西斜面における斜面温暖帯の通年観測
- P113 草本 真志(所属なし) 盆地霧の予測可能性について —広域ライブカメラからの検討—
- P114 坂田 俊夫(気象協会関西) 南岸低気圧は偏西風波動が前線帯に作用して発生・発達する
- P115 中村 東奈(九大院理) 梅雨前線の折れ曲がりによる大雨の解析
- P116 関 隆則(気象予報士会) 降水間隔の順位分布で見た梅雨の降水パターンの特徴
- P117 石丸 友紀乃(筑波大院生命環境) 局地前線に伴うバックビルディング現象(2) —3 台のドップラーレーダを用いた気流構造の解析—
- P118 小山 芳太(大阪管区気象台) 2009 年 8 月 9 日兵庫県佐用町で発生した大雨について
- P119 櫻井 南海子(防災科研) 2010 年 6 月 29 日に埼玉県南部で落雷をもたらした降水システムの構造
- P120 木下 仁(福岡管区気象台) 2009 年 7 月 15 日西日本に突風などをもたらしたガストフロントについて
- P121 下瀬 健一(気象研) 庄内平野に突風をもたらしたじょう乱の数値シミュレーション —2009 年 12 月 12 日の事例解析—
- P122 山崎 麻未(高知大院) 新しいスーパーセル竜巻の模擬実験
- P123 益子 渉(気象研) 2009 年台風第 18 号の接近に伴い関東平野で発生した竜巻 —数値シミュレーションによって再現された下層渦の解析—
- P124 斉藤 和雄(気象研) 2008 年 8 月 5 日首都圏局地的大雨の雲解像アンサンブル実験(序報)
- P125 加藤 雅也(名大地球水循環) 雲解像モデルを用いた台風に伴う最大瞬間風速推定の水平格子解像度依存性
- P126 増富 祐司(埼玉県環境科学国際センター) 台風による水稻の被害面積推計モデルの開発
- P127 篠沢 佳久(慶大) 降水データの類似性に基づく予報区の評価
- P128 松下 哲朗(九大院理) 準定常レジームの性質とその予測可能性
- P129 高橋 真司(筑波大院生命環境) 夏季における北極低気圧と海氷減少について
- P130 坂崎 貴俊(北大院環境) 全球再解析データを用いた対流圏—下部中間圏の大气潮汐の研究
- P131 丁 亨斌(PKNU) Spectral filtering of spherical limited area data with half-ranged Fourier series
- P132 横山 竜也(名古屋大学) 南北一次元シンプル地球システムモデルの高度化 ～土地利用・土地利用変化プロセスの統合～
- P133 立入 郁(JAMSTEC) JUMP-LCM を用いた炭素循環-気候システムのパラメータ不確実性解析

大会第1日 [10月27日(水)] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P134 石原 幸司 (気象研) 高解像度全球大気モデルによる確率降水量の将来変化
- P135 山森 美穂 (都留文大) 小学校教員を目指す大学生の地球温暖化に関する知識 ～地球温暖化のメカニズムと温室効果について～
- P136 大野 浩史 (気象庁気候情報) 気象官署の移転に伴う影響を補正した月平均気温データ
- P137 中津留 高広 (筑波大院生命環境) 過去 100 年間の筑波山山頂 (男体山) における気温と水蒸気量の変動
- P138 本庄 和志 (名大院環境) 気候パラメータを用いた植生季節パターンの推定
- P139 宇野 史睦 (筑波大院生命環境) 近年の日本における日射量変動に及ぼす高度別雲量・雲形の影響
- P140 濱田 純一 (JAMSTEC) 海大陸域西部の降水経年変動に関する研究
- P141 上口 賢治 (気象研) APHRO_JP_EX を用いた、日本の極端降水の経年変動解析
- P142 杉浦 幸之助 (RIGC) 2009/10 年冬のフェアバンクス及び札幌における積雪の推移
- P143 高橋 洋 (JAMSTEC/TMU) アジアモンスーン冬季における持続する北風サージの熱帯への影響
- P144 瀬戸 里枝 (東大院工) チベット高原における対流の挙動と大気加熱プロセスに関する研究
- P145 太田 真衣 (東大大気海洋研) 冬季アジアモンスーンの強弱に伴う降水量の変動と対流圏の波の活動
- P146 野津 雅人 (RIGC) 東南アジア冬期季節風の気候海洋結合モデル MIROC 4 における再現性
- P147 荒川 理 (気象研) 高解像度気候モデルにおいて再現された夏期アジアモンスーン域における降水と標高の関係の将来変化 (2)
- P148 一柳 錦平 (熊大自然科学) HARIMAU2010 集中観測における降水同位体比の短期変動
- P149 藤田 実季子 (JAMSTEC) 異なる MJO フェーズにおけるスマトラ島西岸の対流活動日変化
- P150 田畑 悦和 (京大生存研) インドネシアにおける下部対流圏水平風 ～ウィンドプロファイラネットワーク観測と全球再解析データの比較～
- P151 沢田 雅洋 (東北大院理) 台風に伴う降水の日変動と強度変化について
- P152 重里 昌 (東京海上研究所) 熱帯低気圧の気候変動に伴う変化 -低解像度環境場からの推定-
- P153 久保 勇太郎 (九大院理) Genesis Potential Index を用いた季節内変動の台風発生への寄与
- P154 Mishra Anoop Kumar (RIHN) Observation of Indian summer monsoon-2010 using multi-satellite sensor approach
- P155 宮川 知己 (東大大気海洋研) 全球雲解像モデル NICAM による 2006 年 MJO 事例再現実験におけるレインバンドに伴う運動量輸送効果 Part2: 輸送タイプ別の寄与
- P156 長谷川 拓也 (JAMSTEC) 熱帯太平洋における海面水温と表層塩分の準 10 年スケール変動
- P157 福田 義和 (気象庁海洋気象) COBE-SST ver.2: リコンストラクションを適用した日別解析による歴史的海面水温解析
- P158 丸山 文男 (名大院環境) ENSO, IOD, NAO の時系列に対するウェーブレットを基礎にしたマルチフラクタル解析
- P159 塩田 美奈子 (富山大院理工) 冬季モンスーン時の東シナ海の気候海洋相互作用と総観規模擾乱活動
- P160 石井 翔太 (東北大院理) 動的全球植生モデル (SEIB-DGVM) を用いたアフリカ大陸における降水パターンによる植生応答の評価
- P161 齊藤 龍 (地球環境研究センター) Optimizing Monthly Grid-based CO₂ Fluxes with 4D-Var Data Assimilation Technique
- P162 峰島 知芳 (国環研) Comparison of -O₂/CO₂ changing ratio in pollution events observed at Hateruma with those based on emission inventories and model simulation
- P163 松枝 秀和 (気象研) 上部対流圏における二酸化炭素濃度の南北分布の年々変動
- P164 丹羽 洋介 (気象研) 定期旅客機観測データからみる東南アジアの CO₂ 変動
- P165 後藤 大輔 (東北大院理) 三陸沿岸における大気中酸素濃度の連続観測
- P166 高橋 一穂 (福島大理工) 2003 年夏の気象異常に対する東アジア域陸域炭素循環の応答

大会第1日 [10月27日(水)] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P167 鈴木 孝 (福島大理工) 地球システム統合モデルの改善方法に関する検討 ～陸域・大気サブモデルの精度向上に向けて～
- P168 寺尾 有希夫 (環境研) 西太平洋における大気メタン濃度のトレンドと年々変動 [続報]
- P169 笹川 基樹 (環境研) Annual variation (2005–2009) of methane emissions from wetlands at West Siberia: Anomalous increase induced by high precipitation rate in the summer of 2007.
- P170 Pan Xiaole (FRCGC) Diagnostic analysis of contribution of biomass burning on regional Carbon Oxide and Black Carbon aerosol mass concentrations over rural tropospheric environment, East China
- P171 石島 健太郎 (JAMSTEC) N₂O アイソトポマーモデルを用いた全球 N₂O 放出源のアイソトポマー比の推定
- P172 杉田 考史 (環境研) SMILES による極域無機塩素化合物の分配比
- P173 山地 一代 (JAMSTEC) 領域物質輸送モデルを用いた長崎県福江島における大気汚染解析
- P174 関谷 高志 (名大院環境) エルニーニョの時間発展に対する全球対流圏オゾン分布の応答
- P175 北 和之 (茨城大理) 太陽散乱光の可視 - 紫外同時分光観測による下部対流圏オゾン量の推定 2
筑波山頂からの予備観測
- P176 渡辺 幸一 (富山県立大) 立山における霧水化学とエアロゾル粒子個数濃度の測定
- P177 原 圭一郎 (福岡大理) 南極対流圏下部のエアロゾル成分の鉛直分布と季節変化
- P178 西郷 雅典 (福岡管区気象台) 2010年3月21日の黄砂でみられた山岳による SPM 濃度の減衰
- P179 財前 祐二 (気象研) 2010年3月の黄砂とそのプレイベント時に採取されたエアロゾル粒子の特徴
- P180 江口 健太 (九大院総理工) キラウエア火山起源粒子の大気への影響
- P181 深堀 正志 (気象大) 分光放射計によるエアロゾルの光学特性および可降水量の推定
- P182 増田 一彦 (気象研) ボロノイ型粒子モデルを用いた氷晶雲特性のリトリーバル
- P183 村上 雅則 (筑波大院生命環境) 可搬型簡易自作強制通風式気温計の製作
- P184 猪上 淳 (JAMSTEC/RIGC) 小型氷上気象ブイの運用に向けてー北極圏徒歩観測による試用ー
- P185 古本 淳一 (京大生存研) 沖縄における 443MHz ウィンドプロファイラ-RASS 連続観測による温度プロファイルの長期間解析
- P186 奥 勇一郎 (京大防災研) FY2-E を用いたチベット高原上の地表面温度の算出
- P187 藤山 隆 (防衛大地球海洋) 各種植生でのマイクロ波輝度温度の変化について
- P188 杉谷 茂夫 (NICT) GPM(全球降水観測計画)/DPR(二周波降水レーダ) 軌道上校正用レーダ校正器の開発
- P189 中川 勝広 (NICT) GPM/DPR 地上検証観測のための移動式地上降水観測システムの開発
- P190 斎藤 篤思 (気象研) ダム集水域における固形降水の精確な計量 (その3)
- P191 和田 華代 (山口大農) ビデオゾンデにより観測された冬季降雪雲内の電荷分布について
- P192 山下 克也 (気象研) JCSEPA-IOP 期間中(2010年6月)の高知のエアロゾル濃度(速報)
- P193 折笠 成宏 (気象研) ドライアイスシーディングに伴う山岳性降雪雲の微物理構造の変化 (その4)
- P194 宮井 星児 (名大地球水循環) 梅雨前線に発生したメソ対流系の層状性降水水域の雲粒子観測
- P195 篠田 太郎 (名大地球水循環) 衛星より観測される赤外・マイクロ波輝度温度を用いた雲解像モデルの結果の検討
- P196 田上 雅浩 (熊本大院自然) 熊本における雨滴粒径分布の変動特性
- P197 清水 宏将 (名大院環境) TRMM PR/VIRS を用いた中緯度北太平洋における冬季降水システムの解析
- P198 山本 宗尚 (千葉大 CERE S) Cloudsat データから求めた雲・降水特性の統計解析
- P199 家藤 康平 (阪大院工) 非静力学モデルによる雷雲内電荷分布推定の季節変化

大会第3日 [10月29日(金)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 青柳 暁典 (気象研) 土地利用変化による夏季関東地域の気候変化に関する数値シミュレーション
- P302 保刈 和也 (明星大院理工) 乾季デリーの地上気温に見られる土地利用と都市キャノピーの影響
- P303 大橋 唯太 (岡山理大総合情報) 数値モデル WRF-CMBEM を利用した屋外暑熱環境のリスク評価
- P304 中川 清隆 (立正大地球環境) 2008 年~2010 年前半に埼玉県熊谷市で観測された夜間都市ヒートアイランド強度と郊外接地逆転強度の関係
- P305 村上 雅則 (筑波大院生命環境) 夏季における AMeDAS の気温観測値の空間代表性に関する観測的研究
- P306 黒木 祐樹 (防衛大地球海洋) LES による Kelvin-Helmholtz 波の解析 2
- P307 根本 由紀子 (気象予報士会) 東京における 1 月の気温と降水特性の関係
- P308 馬場 賢治 (京都産業大全セ) 京都盆地周辺の風景場の特徴
- P309 日影 勝幸 (岩手県農業研究センター) 水稲湛水直播栽培導入リスク評価への暖候期予報活用の試み
- P310 中村 和彦 (東大院新領域) 東京大学附属秩父演習林の定点自動撮影動画を用いた二十四節気七十二候の観察
- P311 東 邦昭 (京大生存基盤) 信楽で見られる特徴的大気構造
- P312 佐藤 奈津美 (信州大院理) 乗鞍岳東斜面における気温遞減率の変動とその要因
- P313 佐藤 香枝 (筑波大院生命環境) 菅平における冬季降雨現象の発生要因について
- P314 山下 俊也 (九大院理) 梅雨期における降水の日変化
- P315 陳 桂興 (東北大院理) Mechanisms for the nocturnal development of Mei-yu precipitation over southeastern China within 5-day NHM simulation
- P316 岩崎 一晴 (応用技術) 「ゲリラ豪雨」は気象学的に定義できるか?
- P317 東 邦昭 (京大生存基盤) 2010 年 7 月 13 日~14 日にかけて京都府内で観測された局地的大雨
- P318 諸富 和臣 (名大地球水循環) 2008 年 9 月 2~3 日に岐阜県西部に激しい降水をもたらした降水システムの構造 ~X バンドマルチパラメータレーダによるデュアルドップラー解析の結果~
- P319 福川 匠 (九大院理) 対流圏中層の乾燥度がスーパーセルの発達に及ぼす影響
- P320 谷脇 和博 (気象工学) 山形県庄内平野において抽出された突風の自己相関と空間相関
- P321 小笠原 拓也 (気象協会) 竜巻発生時における前兆現象と LFD 変動パターンの特徴について -2009 年 7 月館林市で発生した竜巻を例として-
- P322 堀場 晃平 (高知大院理) 台風に伴う竜巻の統計解析
- P323 田中 健路 (熊本大自然) 2009 年 2 月に九州西岸で潮位副振動(あびき)を発生させた気圧微変動
- P324 瀬古 弘 (気象研) 局地豪雨の同化実験
- P325 瀬古 弘 (気象研) 青森を通過した台風による強風のアンサンブル予報実験
- P326 斉藤 和雄 (気象研) 2010 年梅雨期のアンサンブル予報実験(序報)
- P327 櫻井 溪太 (日本気象(株)) WRF を用いた数値予報システムの開発と精度検証
- P328 石川 卓 (東北大院理) オホーツク海周辺域におけるジオポテンシャル高度場変動のモード解析
- P329 下 悠子 (筑波大院生命環境) 2009/10 年冬季に顕著な負を示した北極振動の解析
- P330 寺崎 康児 (筑波大計算科学) 鉛直解像度の違いによる大気大循環のエネルギーの比較
- P331 Shin Sun-Hee (気象研) Diurnal variation in diffusion scheme and its impact on a global atmospheric model
- P332 荒川 隆 (RIST) 21 世紀気候変動予測革新プログラムにおけるカップラー開発 (第 3 報)
- P333 中野 満寿男 (JAMSTEC) 温暖化予測実験における暖候期の月別連続無降水日数

大会第3日 [10月29日(金)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P334 村田 昭彦 (気象研) 高解像度日本域気候モデルによる気温の再現性と将来予測
- P335 大垣内 るみ (JAMSTEC) 同位体 AGCM を用いた最終氷期最大期のグリーンランドに記録される酸素同位体比と海水増減の影響
- P336 石原 幸司 (気象研) 日本の気候監視地点における気象庁データと GHCN データとの比較
- P337 朝倉 利員 (果樹研) リンゴの晩霜害発生に関係する春季の平均気温、最低気温の年次変化
- P338 平林 由希子 (東大院工) 全球氷河モデル HYOGA による世界の氷河質量変動
- P339 平野 淳平 (首都大都市環境) 中国における降水量の季節進行と長期変化
- P340 梶川 義幸 (名大地球水循環) 広域アジアモンスーンの長期変化傾向とその季節性
- P341 小林 ちあき (気象研) マルチ気候モデル実験における北半球夏のジェットと成層圏オゾンとの関係
- P342 小濱 里沙 (東大気海洋研) 北半球 4 地域における融雪時期変動と大気場との関係
- P343 徐 健青 (JAMSTEC) チベット高原の浅い湖、深い湖と陸地における熱・水収支のコントラスト
- P344 服部 美紀 (RIGC) 赤道越え北風サージ発生時のジャワ島周辺における日周期降水活動
- P345 濱田 篤 (地球研) アジア域における雨量計観測降水量の空間相関特性
- P346 小玉 知央 (JAMSTEC/RIGC) 衛星シミュレータ COSP を用いた NICAM 雲降水システムの評価
- P347 村上 裕之 (JAMSTEC) 熱帯低気圧気候実験における解像度依存性
- P348 Coronel Rochelle (東北大院理) A Cloud-Resolving Simulation on the impacts of evaporation from raindrops to Typhoon Xangsane (2006)
- P349 井上 豊志郎 (東大気海洋研) 雲システム解像モデルと衛星で観測されたアフリカ南部における降水の日変化 (半日変化)
- P350 和田 章義 (気象研) 台風 Hai-Tang(2005)強度予測に対する地表面過程の影響
- P351 和田 章義 (気象研) 台風 Hai-Tang(2005)通過時の CO₂ フラックスと pH の変化
- P352 北畠 尚子 (気象研) 北西太平洋における台風の温帯低気圧化の気候学的特徴
- P353 山本 真之 (京大生存研) 赤道大気レーダー・ライダーによる雲・降水・大気乱流の集中観測 CLEAR
- P354 茂木 耕作 (RIGC) PALAU2010 ドロップゾンデ観測で捉えられた 2 種類の渦擾乱
- P355 西 憲敬 (京大院理) 圏界面付近における赤道ケルビン波の速度
- P356 堀井 孝憲 (RIGC) インド洋ダイポール現象の発生に先行する海洋内部の変動
- P357 大庭 雅道 (電中研) ENSO の遷移メカニズムの長期変動～振幅・基本場・インド洋との関係～
- P358 島岡 透 (名大院環境) 衛星データを用いた黒潮流域の降水についての研究
- P359 可知 美佐子 (JAXA/EORC) 衛星データを利用した陸面水循環シミュレーションとその影響評価
- P360 吉田 龍平 (東北大院理) 東シベリアにおける地表面変化が領域降水量と熱収支構成要素に与える影響
- P361 廣江 秀俊 (岡山大院環理) プロファイル法による海面 CO₂ フラックス測定
- P362 坪井 一寛 (気象研) 気象庁 GAW 観測点における二酸化炭素濃度の長期変動
- P363 澤 庸介 (気象研) 定期旅客便で観測された上部対流圏の広域 CO₂ 分布と季節変動
- P364 石井 昌憲 (NICT) コヒーレント差分吸収ライダーによる気柱カラム CO₂ 濃度計測
- P365 永井 智広 (気象研) 二酸化炭素鉛直分布測定用 1.6 μm 帯 DIAL 用固体検出素子の性能評価
- P366 市井 和仁 (福島大理工) アジア域における陸域生態系モデル相互比較: 初期解析結果

大会第3日 [10月29日(金)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P367 宮村 真人 (東大大気海洋研) アフリカ上空の温室効果ガス濃度変動とその原因の究明
- P368 白井 知子 (環境研) Observed and simulated short timescale variability of CO₂ over Narita in 2007
- P369 弓本 桂也 (九大応力研) 全球化学輸送モデルへのアンサンブル同化手法の導入-静止大気環境観測衛星の OSSE にむけて-
- P370 高島 久洋 (JAMSTEC) 横須賀における NO₂ の変動~MAX-DOAS 法による連続観測
- P371 佐伯 浩介 (東北大院環境) 2007 年南極昭和基地 FTIR による HNO₃ の観測
- P372 今井 弘二 (とめ研) In lower stratospheric CH₃CN observation with JEM/SMILES
- P373 中村 哲 (環境研) 化学気候モデルへ適用した LETKF によるオゾン同化シミュレーション実験
- P374 潮平 佳世子 (奈良女子大) 東アジア域の対流圏オゾンの MOZART C データ解析
- P375 渡辺 幸一 (富山県立大) 富山県における大気および降水中の過酸化水素濃度の測定
- P376 猪股 弥生 (ACAP) 関東平野へのダスト流入に山岳遮蔽効果と局地前線形成が及ぼす影響: 2007 年春の黄砂事例解析
- P377 板橋 秀一 (九大院総理工) 東アジア域におけるエアロゾル光学的厚さの経年変化に関する研究
- P378 直江 寛明 (気象研) 千畳敷・榛名・穂高・つくばで観測された 2010 年 3 月の黄砂現象
- P379 早坂 忠裕 (東北大院理) 黄砂が雲特性に与える影響に関する研究
- P380 井上 陽子 (奈良女子大院) 視程データを利用した中国におけるエアロゾルの変動の研究
- P381 吉田 直人 (京大生存研) GPS 遮蔽観測のデータ分布特性に関する研究
- P382 佐藤 可織 (九大応力研) 衛星搭載能動型センサによる雲・降水粒子プロダクトと全球解析
- P383 朽木 勝幸 (気象研) 全天分光日射計による積雪中黒色炭素・ダスト濃度の推定
- P384 小林 誠貴 (防衛大地球海洋) 航空自衛隊三沢基地における接地性のレーダダクト
- P385 脇阪 洋平 (京大生存研) GNU Radio を用いたウィンドプロファイラー用デジタル受信機の開発
- P386 増田 一彦 (気象研) IASI の最適チャネル選択におけるアポダイゼーションの影響
- P387 真野 裕三 (気象研) 衛星サウンダーによる陸上の水蒸気分布と水蒸気ライダー観測値との比較
- P388 久保田 拓志 (JAXA/EORC) JMA-NHM を用いた GPM/DPR 観測の降雨非一様性補正手法の開発
- P389 Husi Letu (TRIC) 氷雲リモートセンシングに利用される非球形散乱データベースの構築
- P390 竹内 裕人 (名大地球水循環) 固体降水粒子の地上観測結果を用いたマルチパラメータレーダーで得られる偏波パラメータの検討
- P391 伊関 一悟 (山口大農) ビデオゾンデで観測された氷晶の形状の定量的評価
- P392 豊田 友英 (筑波大院生命環境) 冬季降雪雲に対する数値モデルを用いた最適シーディング法についての研究 (その 2)
- P393 橋本 明弘 (気象研) 4-ICE バルク法微物理過程の開発
- P394 佐藤 陽祐 (東大大気海洋研) ビン型雲モデルを用いた東部太平洋における層積雲の再現実験
- P395 岩崎 杉紀 (防衛大地球海洋) 下部成層圏の雲の性質
- P396 Roh Woosub (東大大気海洋研) Evaluation of cloud cluster properties of NICAM using T3EF and split window
- P397 高橋 暢宏 (NICT) 地表面エコーを用いた Cloudsat 推定雲水量の評価 (初期解析)
- P398 石井 恭介 (筑波大院生命環境) 日本とその沿岸における落雷頻度の統計解析
- P399 間瀬 博文 (所属なし) 暖気と暖気の間無限大の壁を置けば何が起るかが推測できる実験

講演者索引

< A >

Adachi Ahoro (足立 アホロ) D156
 Aizawa Takuro (相澤 拓郎) C206
 Akiyoshi Hideharu (秋吉 英治) C107
 Ando Hiroki (安藤 紘基) B206
 Aoki Teruo (青木 輝夫) B309
 Aoki Tomokazu (青木 智和) D105
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) A104
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) D160
 Aoyagi Toshinori (青柳 曉典) P301
 Arai Ken-ichiro (新井 健一郎) D215
 Arai Naoki (新井 直樹) B354
 Arakawa Osamu (荒川 理) P147
 Arakawa Takashi (荒川 隆) P332
 Araki Kentaro (荒木 健太郎) D114
 Asakura Toshikazu (朝倉 利員) P337
 Asuma Yoshio (遊馬 芳雄) B304

< B >

Baba Kenji (馬場 賢治) B364
 Baba Kenji (馬場 賢治) P308
 Bayu Nugroho (バユ ヌグロホ) B106

< C >

Chen Guixing (陳 桂興) P315
 Cheong Hyeong-bin (丁 亨斌) P131
 Chikamoto Yoshimitsu (近本 喜光) B160
 Coronel Rochelle P348

< D >

Doi Shuji (土井 修二) B361
 Du Mingyuan (杜 明遠) B107

< E >

Eguchi Kenta (江口 健太) P180
 Eguchi Nawo (江口 菜穂) C153
 Eguchi Nawo (江口 菜穂) C159
 Endo Hirokazu (遠藤 洋和) A354
 Enomoto Takeshi (榎本 剛) A108

< F >

Fudeyasu Hironori (筆保 弘徳) C202
 Fujibe Fumiaki (藤部 文昭) B111

Fujita Hiroshi (藤田 浩史) D203
 Fujita Mikiko (藤田 実季子) P149
 Fujiyama Takashi (藤山 隆) P187
 Fujiyoshi Yasushi (藤吉 康志) D351
 Fukabori Masashi (深堀 正志) P181
 Fukuda Satoru (福田 悟) C160
 Fukuda Yoshikazu (福田 義和) P157
 Fukugawa Takumi (福川 匠) P319
 Fukutomi Yoshiaki (福富 慶樹) B103
 Furumoto Jun-ichi (古本 淳一) P185

< G >

Goto Daisuke (五藤 大輔) D355
 Goto Daisuke (後藤 大輔) P165

< H >

Hamada Atsushi (濱田 篤) P345
 Hamada Jun-ichi (濱田 純一) P140
 Hara Kazutaka (原 和崇) D359
 Hara Keiichiro (原 圭一郎) P177
 Hara Masahiro (原 昌弘) A112
 Hara Masayuki (原 政之) A203
 Hara Yukari (原 由香里) A158
 Harada Yayoi (原田 やよい) B152
 Hasegawa Takuya (長谷川 拓也) P156
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) P393
 Hashimoto Makiko (橋本 真喜子) D364
 Hatsushika Hiroaki (初鹿 宏社) B110
 Hattori Miki (服部 美紀) P344
 Hayasaka Tadahiro (早坂 忠裕) P379
 Hayashi Syugo (林 修吾) C372
 Hayashi Yousuke (林 洋介) A106
 Hayashida Sachiko (林田 佐智子) C166
 Higashi Kuniaki (東 邦昭) P311
 Higashi Kuniaki (東 邦昭) P317
 Hikage Katsuyuki (日影 勝幸) P309
 Hirabayashi Yukiko (平林 由希子) P338
 Hirahara Shoji (平原 翔二) A357
 Hiramatsu Akio (平松 章男) B366
 Hirano Junpei (平野 淳平) P339
 Hiroe Hidetoshi (廣江 秀俊) P361
 Hirokawa Yasutaka (廣川 康隆) C360
 Hirose Hitoshi (広瀬 民志) D367

Hirota Nagio (廣田 渚郎) A352
 Hokari Kazuya (保刈 和也) P302
 Honjo Kazushi (本庄 和志) P138
 Horiba Kohei (堀場 晃平) P322
 Horie Yuka (堀江 祐圭) B357
 Horii Takanori (堀井 孝憲) P356
 Hoshino Naoya (星野 直哉) B211
 Hoshino Shunsuke (星野 俊介) C201
 Hosouchi Mayu (細内 麻悠) B208
 Hotta Daisuke (堀田 大介) A114
 Husi Letu P389

< I >

Ibuki Toshio (伊吹 紀男) C157
 Ichii Kazuhito (市井 和仁) P366
 Ichikawa Hiroki (市川 裕樹) A366
 Ichianagi Kimpei (一柳 錦平) P148
 Iefuji Kouhei (家藤 康平) P199
 Iga Keita (伊賀 啓太) D306
 Iijima Yoshihiro (飯島 慈裕) B303
 Iizumi Toshichika (飯泉 仁之直) A206
 Ikeda Kohei (池田 恒平) B213
 Ikeno Nobuyuki (池野 伸幸) D153
 Imada Yukiko (今田 由紀子) B101
 Imada Yukiko (今田 由紀子) B155
 Imai Koji (今井 弘二) P372
 Imamura Takeshi (今村 剛) B201
 Imasu Ryoichi (今須 良一) C155
 Inatsu Masaru (稲津 將) A201
 Inomata Yayoi (猪股 弥生) P376
 Inoue Hanako (猪上 華子) D214
 Inoue Jun (猪上 淳) P184
 Inoue Makoto (井上 誠) C110
 Inoue Tomoshige (井上 知榮) A353
 Inoue Toshiro (井上 豊志郎) P349
 Inoue Yoko (井上 陽子) P380
 Irie Hitoshi (入江 仁士) D361
 Iseki Kazunori (伊関 一悟) P391
 Ishibashi Toshiyuki (石橋 俊之) A101
 Ishibashi Toshiyuki (石橋 俊之) A105
 Ishida Haruma (石田 春磨) C158
 Ishida Junichi (石田 純一) A111
 Ishihara Koji (石原 幸司) P134

- Ishihara Koji (石原 幸司) P336
 Ishii Kyouzuke (石井 恭介) P398
 Ishii Shoken (石井 昌憲) P364
 Ishii Shouta (石井 翔太) P160
 Ishijima Kentaro (石島 健太郎) P171
 Ishikawa Taku (石川 卓) P328
 Ishimaru Yukino (石丸 友紀乃) P117
 Ishimoto Hiroshi (石元 裕史) D362
 Ishizaka Masaaki (石坂 雅昭) D207
 Ishizaki Noriko (石崎 紀子) A207
 Ishizaki Yasuhiro (石崎 安洋) A208
 Ishizuka Masahide (石塚 正秀) A152
 Itahashi Syuichi (板橋 秀一) P377
 Itano Toshihisa (板野 稔久) D303
 Ito Junshi (伊藤 純至) D104
 Iwagami Naomoto (岩上 直幹) B203
 Iwai Hironori (岩井 宏徳) C366
 Iwai Hironori (岩井 宏徳) D162
 Iwasaki Kazuharu (岩崎 一晴) P316
 Iwasaki Suginori (岩崎 杉紀) P395
 Iwasaki Toshiki (岩崎 俊樹) B156
- < J >
- Jin Yoshitaka (神 慶孝) A156
 Juri Akira (重里 昌) P152
- < K >
- Kachi Misako (可知 美佐子) P359
 Kai Kenji (夙斐 憲次) A155
 Kajikawa Yoshiyuki (梶川 義幸) P340
 Kajino Mizuo (梶野 瑞王) D358
 Kakikawa Makiko (柿川 真紀子) A165
 Kamahori Hirotaka (釜堀 弘隆) A305
 Kamahori Hirotaka (釜堀 弘隆) C205
 Kamiguchi Kenji (上口 賢治) P141
 Kanada Sachie (金田 幸恵) C352
 Kanemaru Kaya (金丸 佳矢) C308
 Kang Jung-yoon A153
 Kasai Yasko (笠井 康子) C103
 Kashiura Toru (柏浦 徹) P104
 Katahira Atsushi (片平 敦) B355
 Kato Masaya (加藤 雅也) P125
 Kato Ryohei (加藤 亮平) D310
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) C351
 Kawamura Seiji (川村 誠治) D157
- Kawanishi Masaru (川西 勝) B356
 Kawase Hiroaki (川瀬 宏明) A307
 Kawase Hiroaki (川瀬 宏明) D354
 Kawatani Yoshio (河谷 芳雄) A370
 Kayaba Nobuyuki (萱場 互起) B151
 Kikuchi Katsuhiko (菊地 勝弘) D209
 Kim Dong-soon (金 東順) D151
 Kim Heon-sook (金 憲淑) C167
 Kimura Fujio (木村 富士男) D115
 Kimura Noriaki (木村 詞明) B308
 Kinoshita Masashi (木下 仁) P120
 Kinoshita Takenari (木下 武也) C114
 Kishi Fumihiko (岸 文彦) B362
 Kita Kazuyuki (北 和之) P175
 Kitabatake Naoko (北島 尚子) P352
 Kobayashi Chiaki (小林 ちあき) P341
 Kobayashi Fumiaki (小林 文明) C365
 Kobayashi Masataka (小林 誠貴) P384
 Kobayashi Takahisa (小林 隆久) D155
 Kodama Chihiro (小玉 知央) P346
 Kodama Yasu-masa (児玉 安正) B307
 Koderu Kunihiko (小寺 邦彦) B153
 Kohma Masashi (高麗 正史) C104
 Koike Katsuyuki (小池 克征) D205
 Koike Katsuyuki (小池 克征) P102
 Komatsu Asami (小松 麻美) B109
 Komatsu Kensuke (小松 謙介) D113
 Komori Nobumasa (小守 信正) B306
 Kondo Hiroaki (近藤 裕昭) D110
 Kondo Masayuki (近藤 雅征) D368
 Kondo Sayako (近藤 沙綾子) D352
 Konishi Hioryuki (小西 啓之) D208
 Konishi Tatsuo (小西 達男) A115
 Konno Shohei (紺野 祥平) P109
 Kono Hitoshi (河野 仁) D108
 Kosaka Yu (小坂 優) B161
 Kouyama Toru (神山 徹) B209
 Koyama Yoshita (小山 芳太) P118
 Kubo Yutaro (久保 勇太郎) P153
 Kubota Takuji (久保田 拓志) P388
 Kuchiki Katsuyuki (朽木 勝幸) P383
 Kudo Rei (工藤 玲) D363
 Kuramochi Masayuki (倉持 真之) P103
 Kurihara Kazuo (栗原 和夫) A211
 Kuroda Tohru (黒田 徹) A109
- Kuroki Yuki (黒木 祐樹) P306
 Kurosaki Yasunori (黒崎 泰典) A154
 Kusaka Hiroyuki (日下 博幸) A210
 Kusamoto Masashi (草本 真志) P113
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) D212
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) D213
 Kuwano-yoshida Akira (吉田 聡) A303
 Kuze Akihiko (久世 暁彦) C151
- < L >
- Laine Alexandre A356
- < M >
- Maejima Yasumitsu (前島 康光) D301
 Maki Masayuki (真木 雅之) C367
 Maki Takashi (真木 貴史) C162
 Maki Teruya (牧 輝弥) A166
 Mano Yuzo (真野 裕三) P387
 Maruyama Fumio (丸山 文男) P158
 Mase Hirofumi (間瀬 博文) P399
 Mashiko Wataru (益子 渉) P123
 Masuda Kazuhiko (増田 一彦) P182
 Masuda Kazuhiko (増田 一彦) P386
 Masuda Sen-ichi (増田 仙一) D112
 Masuko Tomonori (増子 友紀) D307
 Masutomi Yuji (増富 祐司) P126
 Matsueda Hidekazu (松枝 秀和) P163
 Matsui Takashi (松井 隆) D366
 Matsuki Atsushi (松木 篤) A159
 Matsumoto Norihisa (松本 教久) D165
 Matsumura Shinji (松村 伸治) B164
 Matsushima Kazuhiro (松島 和宏) D309
 Matsushita Tetsuro (松下 哲朗) P128
 Mega Tomoaki (妻鹿 友昭) C112
 Mega Tomoaki (妻鹿 友昭) C368
 Michihiro Yuri (道広 有理) A368
 Mikami Masao (三上 正男) A151
 Mimura Kazuo (三村 和男) D308
 Minejima Chika (峰島 知芳) P162
 Mishra Anoop Kumar P154
 Mitsuda Chihiro (光田 千紘) C102
 Miyai Seiji (宮井 星児) P194
 Miyakawa Tomoki (宮川 知己) P155
 Miyamura Masato (宮村 真人) P367
 Mizuta Ryo (水田 亮) A308

- | | | | | | |
|-----------------------------|------|-----------------------------|------|----------------------------|------|
| Mochizuki Takashi (望月 崇) | B167 | Nishigaki Hajime (西垣 肇) | P112 | | |
| Mori Fumihiko (森 文洋) | D103 | Nishihashi Masahide (西橋 政秀) | D216 | < P > | |
| Mori Masato (森 正人) | B159 | Nishii Kazuaki (西井 和晃) | A355 | Pan Xiaole | P170 |
| Mori Shuichi (森 修一) | C302 | Nishii Kazuaki (西井 和晃) | B158 | < R > | |
| Morotomi Kazuomi (諸富 和臣) | P318 | Nishimori Motoki (西森 基貴) | A205 | Roh Woosub | P396 |
| Moteki Qoosaku (茂木 耕作) | P354 | Niwa Yosuke (丹羽 洋介) | P164 | < S > | |
| Motoyoshi Hiroki (本吉 弘岐) | D159 | Niwano Masashi (庭野 匡思) | B310 | Saeki Kosuke (佐伯 浩介) | P371 |
| Murakami Hiroyuki (村上 裕之) | P347 | Noda Akira (野田 彰) | C115 | Sagawa Masato (佐川 正人) | P111 |
| Murakami Masanori (村上 雅則) | P183 | Noda Satoshi (納多 哲史) | D311 | Saigo Masanori (西郷 雅典) | P178 |
| Murakami Masanori (村上 雅則) | P305 | Nodzu Masato (野津 雅人) | P146 | Saito Atsushi (齋藤 篤思) | P190 |
| Murakami Masataka (村上 正隆) | D201 | Nomura Syohei (野村 昇平) | C353 | Saito Kazuo (齊藤 和雄) | P124 |
| Murakami Shigenori (村上 茂教) | A301 | Nurjanna Joko Trilaksono | C303 | Saito Kazuo (齊藤 和雄) | P326 |
| Murakami Shin-ya (村上 真也) | D305 | < O > | | Saito Makoto (齊藤 誠) | C164 |
| Murata Akihiko (村田 昭彦) | P334 | Obama Risa (小濱 里沙) | P342 | Saito Naoaki (齊藤 直彬) | D304 |
| Murata Fumie (村田 文絵) | C305 | Obata Atsushi (小畑 淳) | A306 | Saito Ryu (齊藤 龍) | P161 |
| Murayama Tamotsu (村山 保) | B365 | Oda Ryoko (小田 儼子) | D106 | Saitoh Naoko (齋藤 尚子) | C154 |
| < N > | | Oda Tomohiro (小田 知宏) | C163 | Sakai Daisaku (坂井 大作) | B168 |
| Nagai Tomohiro (永井 智広) | P365 | Ogasawara Takuya (小笠原 拓也) | P321 | Sakai Masahiro (阪井 雅洋) | D163 |
| Nagasawa Chikao (長澤 親生) | D161 | Ogohara Kazunori (小郷原 一智) | B207 | Sakai Tetsu (酒井 哲) | D360 |
| Nagaya Koichi (長屋 幸一) | B162 | Ohashi Yukitaka (大橋 唯太) | P105 | Sakata Toshio (坂田 俊夫) | P114 |
| Nagoshi Toshiyuki (名越 利幸) | B363 | Ohashi Yukitaka (大橋 唯太) | P303 | Sakazaki Takatoshi (坂崎 貴俊) | P130 |
| Nakagawa Katsuhiko (中川 勝広) | P189 | Ohba Masamichi (大庭 雅道) | P357 | Sakurai Keita (櫻井 溪太) | P327 |
| Nakagawa Kiyotaka (中川 清隆) | P304 | Ohgaito Rumi (大垣内 るみ) | A302 | Sakurai Namiko (櫻井 南海子) | P119 |
| Nakai Sento (中井 専人) | C370 | Ohgaito Rumi (大垣内 るみ) | P335 | Sasakawa Motoki (笹川 基樹) | P169 |
| Nakajima Hideaki (中島 英彰) | C106 | Oh'izumi Mitsuo (大泉 三津夫) | A204 | Sasaki Kaori (佐々木 華織) | P106 |
| Nakamura Haruna (中村 東奈) | P115 | Ohno Hiroshi (大野 浩史) | P136 | Sato Kae (佐藤 香枝) | P313 |
| Nakamura Kazuhiko (中村 和彦) | D164 | Ohno Yuichi (大野 裕一) | D202 | Sato Kaori (佐藤 可織) | P382 |
| Nakamura Kazuhiko (中村 和彦) | P310 | Ohta Mai (太田 真衣) | P145 | Sato Naoki (佐藤 尚毅) | A359 |
| Nakamura Kazuki (中村 一樹) | B368 | Ohtake Hideaki (大竹 秀明) | D206 | Sato Natsumi (佐藤 奈津美) | P312 |
| Nakamura Kozo (中村 晃三) | C364 | Ohya Manami (大矢 麻奈未) | C105 | Sato Tomonori (佐藤 友徳) | A202 |
| Nakamura Mototaka (中村 元隆) | B305 | O'ishi Ryouta (大石 龍太) | A304 | Sato Yoshinobu (佐藤 嘉展) | A369 |
| Nakamura Tetsu (中村 哲) | C108 | Okamoto Hajime (岡本 創) | D365 | Sato Yousuke (佐藤 陽祐) | P394 |
| Nakamura Tetsu (中村 哲) | P373 | Okamoto Kota (岡本 功太) | C113 | Satoh Masaki (佐藤 正樹) | A309 |
| Nakano Masuo (中野 満寿男) | P333 | Okamoto Kozo (岡本 幸三) | A102 | Satoh Shinsuke (佐藤 晋介) | B352 |
| Nakatani Aya (中谷 彩) | D353 | Okayama Jin (岡山 仁) | B102 | Satoh Takehiko (佐藤 毅彦) | B204 |
| Nakatsuru Takahiro (中津留 高広) | P137 | Oku Yuichiro (奥 勇一郎) | C212 | Sawa Yousuke (澤 庸介) | P363 |
| Nakazato Masahisa (中里 真久) | C363 | Oku Yuichiro (奥 勇一郎) | P186 | Sawada Masahiro (沢田 雅洋) | P151 |
| Naoe Hiroaki (直江 寛明) | P378 | Onogi Kazutoshi (大野木 和敏) | C208 | Seiki Ayako (清木 亜矢子) | A361 |
| Nasuno Tomoe (那須野 智江) | C203 | Orikasa Narihiro (折笠 成宏) | P193 | Seino Naoko (清野 直子) | C355 |
| Nawata Keiko (縄田 恵子) | P101 | Osada Kazuo (長田 和雄) | A160 | Seki Takanori (関 隆則) | P116 |
| Nemoto Yukiko (根本 由紀子) | P307 | Ose Tomoaki (尾瀬 智昭) | A362 | Sekiya Takashi (関谷 高志) | P174 |
| Ninomiya Kozo (二宮 洗三) | A358 | Oshima Kazuhiro (大島 和裕) | A365 | Sekizawa Shinya (関澤 信也) | D158 |
| Nishi Noriyuki (西 憲敬) | P355 | Oshima Naga (大島 長) | D357 | Seko Hiromu (瀬古 弘) | P324 |
| | | Oue Mariko (尾上 万里子) | C369 | | |

- Seko Hiromu (瀬古 弘) P325
 Seto Rie (瀬戸 里枝) P144
 Seto Yoshihito (瀬戸 芳一) P108
 Shamil Maksyutov C165
 Shigeta Yoshinori (重田 祥範) D111
 Shimaoka Tooru (島岡 透) P358
 Shimizu Atsushi (清水 厚) A162
 Shimizu Hiromasa (清水 宏将) P197
 Shimizu Shingo (清水 慎吾) A113
 Shimizu Toshinari (清水 俊成) D211
 Shimo Yuko (下 悠子) P329
 Shimose Ken-ichi (下瀬 健一) P121
 Shin Sun-hee P331
 Shinoda Taro (篠田 太郎) P195
 Shinozawa Yoshihisa (篠沢 佳久) P127
 Shiogama Hideo (塩竈 秀夫) A351
 Shiohira Kayoko (潮平 佳世子) P374
 Shiota Minako (塩田 美奈子) P159
 Shiotani Masato (塩谷 雅人) C101
 Shirai Tomoko (白井 知子) P368
 Shiraishi Shouji (白石 晶二) B360
 Shoji Yoshinori (小司 禎教) D107
 Simamoto Hitomi (島本 瞳) D102
 Sueyoshi Masakazu (末吉 雅和) A363
 Sueyoshi Masakazu (末吉 雅和) D302
 Suga Tomoya (須賀 友也) C307
 Sugawara Hirofumi (菅原 広史) D109
 Sugi Masato (杉 正人) C309
 Sugita Takafumi (杉田 考史) P172
 Sugitani Shigeo (杉谷 茂夫) P188
 Sugiura Konosuke (杉浦 幸之助) P142
 Suzuki Akikio (鈴木 晶子) B359
 Suzuki Junko (鈴木 順子) C111
 Suzuki Kazue (鈴木 香寿恵) B311
 Suzuki Takashi (鈴木 孝) P167
- < T >
 Tabata Yoshikazu (田畑 悦和) P150
 Tachiiri Kaoru (立入 郁) P133
 Taguchi Makoto (田口 真) B205
 Tajiri Takuya (田尻 拓也) D204
 Takagi Hiroshi (高木 宏志) C161
 Takagi Masahiro (高木 征弘) B214
 Takahashi Chiharu (高橋 千陽) A360
 Takahashi Hiroshi (高橋 洋) P143
- Takahashi Kazuho (高橋 一穂) P166
 Takahashi Kiyokazu (高橋 清和) B351
 Takahashi Nobuhiro (高橋 暢宏) P397
 Takahashi Nobuto (高橋 信人) B105
 Takahashi Shinji (高橋 真司) P129
 Takashima Hisahiro (高島 久洋) P370
 Takaya Yuhei (高谷 祐平) B154
 Takayabu Izuru (高敷 出) A212
 Takemi Tetsuya (竹見 哲也) A157
 Takemi Tetsuya (竹見 哲也) C362
 Takemura Toshihiko (竹村 俊彦) B353
 Takeuchi Hiroto (竹内 裕人) P390
 Tanaka Hiroshi (田中 博) B157
 Tanaka Kenji (田中 健路) P323
 Tanaka Shinya (田中 真也) D101
 Tanaka Taichu (田中 泰宙) A161
 Taniwaki Kazuhiro (谷脇 和博) P320
 Tanoue Masahiro (田上 雅浩) P196
 Terao Toru (寺尾 徹) C304
 Terao Yukio (寺尾 有希夫) P168
 Terasaki Koji (寺崎 康児) P330
 Tokuno Masami (徳野 正巳) C207
 Tomikawa Yoshihiro (富川 喜弘) C109
 Tomiyama Yoshiyuki (冨山 芳幸) B367
 Toyoda Tomohide (豊田 友英) P392
 Toyoshima Koichi (豊嶋 紘一) C204
 Tsuboi Kazuhiro (坪井 一寛) P362
 Tsuboki Kazuhisa (坪木 和久) B302
 Tsubota Yukimasa (坪田 幸政) B112
 Tsuguchi Hiroshige (津口 裕茂) C357
 Tsunematsu Nobumitsu (常松 展充) A164
 Tsutsui Junichi (筒井 純一) A367
- < U >
 Uchino Osamu (内野 修) C156
 Udagawa Saneyuki (宇田川 真之) B358
 Uekiyo Naotaka (上清 直隆) A103
 Uno Fumichika (宇野 史睦) P139
 Uno Itsushi (鵜野 伊津志) A163
- < W >
 Wada Akiyoshi (和田 章義) P350
 Wada Akiyoshi (和田 章義) P351
 Wada Hanayo (和田 華代) P191
- Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝) A209
 Wakisaka Youhei (脇阪 洋平) P385
 Watanabe Akira (渡邊 明) C358
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) P176
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) P375
 Watanabe Masahiro (渡部 雅浩) B166
 Wu Peiming (伍 培明) B104
- < X >
 Xu Jianqing (徐 健青) P343
- < Y >
 Yamada Hiroyuki (山田 広幸) C301
 Yamada Manabu (山田 学) B202
 Yamada Yoshinori (山田 芳則) C354
 Yamada Yoshinori (山田 芳則) C361
 Yamaguchi Chikara (山口 力) P107
 Yamaguchi Kosei (山口 弘誠) C371
 Yamaguchi Munehiko (山口 宗彦) A107
 Yamaguchi Satoru (山口 悟) B108
 Yamaji Kazuyo (山地 一代) P173
 Yamamori Miho (山森 美穂) P135
 Yamamoto Hiroki (山本 博基) B212
 Yamamoto Kazuki (山本 一輝) B163
 Yamamoto Masaru (山本 勝) B210
 Yamamoto Masaru (山本 勝) C359
 Yamamoto Masayuki (山本 真之) D152
 Yamamoto Masayuki (山本 真之) P353
 Yamamoto Munehisa (山本 宗尚) P198
 Yamanaka Manabu (山中 大学) C306
 Yamanaka Toru (山中 徹) C356
 Yamasaki Asami (山崎 麻未) P122
 Yamasaki Masanori (山岬 正紀) C310
 Yamashita Akira (山下 晃) D210
 Yamashita Katsuya (山下 克也) P192
 Yamashita Toshiya (山下 俊也) P314
 Yamauchi Hiroshi (山内 洋) D154
 Yamazaki Hiroe (山崎 弘恵) A110
 Yasuda Tamaki (安田 珠幾) A364
 Yasunari Teppei (安成 哲平) B301
 Yasunari Teppei (安成 哲平) D356
 Yasutomi Natsuko (安富 奈津子) B165
 Yatagai Akiyo (谷田貝 亜紀代) A371
 Yokoi Satoru (横井 覚) C210

Yokoyama Tatsuya (横山 竜也)	P132
Yoshida Naoto (吉田 直人)	P381
Yoshida Ryuhei (吉田 龍平)	P360
Yoshida Yukio (吉田 幸生)	C152
Yoshimura Jun (吉村 純)	C211
Yoshioka Mayumi (吉岡 真由美)	C209
Yoshizaki Masanori (吉崎 正憲)	C311
Yumimoto Keiya (弓本 桂也)	P369
Yuyama Yoichi (柚山 洋一)	P110

< Z >

Zaizen Yuji (財前 祐二)	P179
-----------------------	------